INTERCOLOR

LP-8300C

セットアップガイド

4011715-03
F04

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

開梱と据置作業を行われる方へ

本製品の搬入後、梱包箱から取り出して据え置くまでの作業について説明しています。

セットアップガイド

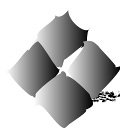
プリンタの組み立てから、プリンタソフトウェアのセットアップまでの手順を記載しています。

ユーザーズガイド(PDF)

機能、操作方法など、本プリンタを使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。
また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。
お客様の目的に応じて、必要な章をお読みください。
ユーザーズガイド（PDF）は、製品に同梱されているCD-ROMに収録されています。ユーザーズガイド（PDF）の見方および印刷の仕方については以下のページを参照してください。
☞本書「ユーザーズガイド（PDF）の使い方」68ページ

メンテナンスガイド

用紙詰まり、用紙のセット方法など日常使用していく上で必要となる主な情報について記載しています。



安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されております取扱説明書をお読みください。
本書および製品添付の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
本書および製品添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

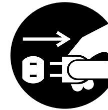
	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、濡れた手で製品に触ることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	この記号は、必ずアース線を接続することを示しています。

もくじは10ページにあります。

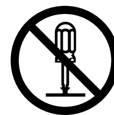
安全上のご注意

⚠ 警告

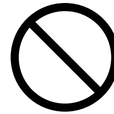
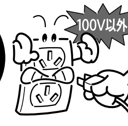
煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対しないでください。



（取扱説明書で指示されている以外の）分解や改造はしないでください。
けがや感電・火災の原因となります。



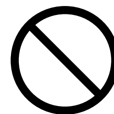

表示されている電源（AC100V、15A）以外は使用しないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
（本機の定格電流は 100V/10A です）

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

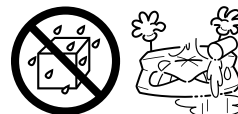



通風口など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。




⚠ 警告

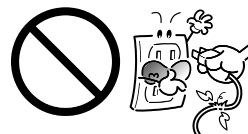
異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。



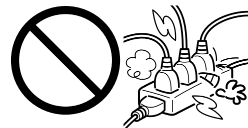
破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードの上に重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源コードが破損したら、販売店またはエプソンフィールドセンターにご相談ください。

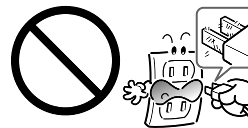


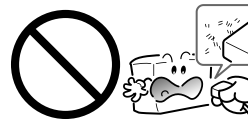
電源プラグは、定格電圧100Vのコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。
発熱による火災や感電のおそれがあります。（本機の定格電流は100V/10Aです。）



電源プラグの取り扱いには注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因となります。
電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む





もくじは10ページにあります。

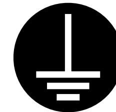
⚠警告

添付されている電源コード以外の電源コードは使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



アースを接続しない状態で使用しないでください。



感電・火災の原因となります。

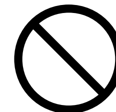
接地（アース）付きプラグを接続できない場合は、プラグ変換アダプタのアースを必ず次のいずれかに取り付けてください。

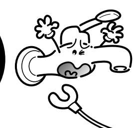
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めた物
- 接地工事（第3種）を行っている接地端子

感電防止のためプラグ変換アダプタを使用する場合は、コンセントに接続していない状態で作業してください。

ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のような場所には、絶対にアース線を接続しないでください。





- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）

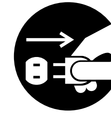
⚠注意

小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。	
不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。	
湿気やほこりの多い場所に置かないでください。 感電・火災の危険があります。	
本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがをする危険があります。	
開梱や移動の際、1人で運ばないでください。 本製品は重いので(71.2kg)、必ず4人以上で運んでください。	
本製品の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。 次のような場所には設置しないでください。 •押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ •じゅうたんや布団の上 •毛布やテーブルクロスのような布をかけない また、壁際に設置する場合は、壁から15cm以上のすき間をあけてください。	

もくじは10ページにあります。

⚠注意

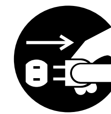
連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



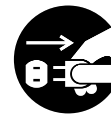
各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の危険があります。



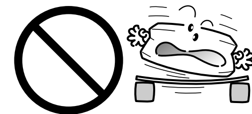
本製品を移動する場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。



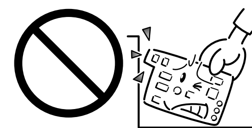
電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。
落下によって、そばにいる人がけがをする危険があります。



オプション類を装着するときは、表裏や前後をまちがえないでください。
まちがえて装着すると、故障の原因となります。取扱説明書の指示に従って、正しく装着してください。



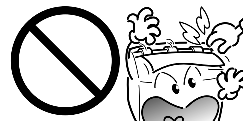
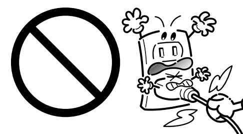
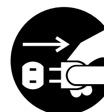
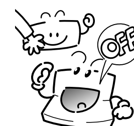
紙詰まりの状態で放置しないでください。
定着器が加熱し、発煙・発火の原因となります。



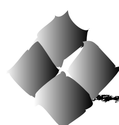
使用中に、定着ユニットを引き出したときは定着器部分に触れないでください。
高温になっているため、火傷のおそれがあります。



⚠ 注意

電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近づけないでください。 指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手にとってください。	
使用済みのETカートリッジや廃トナーボックス、感光体ユニットを、火の中に入れないでください。 トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。使用済みのETカートリッジは回収しておりますのでご協力をお願いします。	
本機の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。 電源プラグが変形し、発火の原因となることがあります。	
電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張ると、コードが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。	
インターフェイスケーブルやオプション製品を接続するときや消耗品（感光体ユニット）を交換するときは、必ず本機の電源スイッチをオフにしてください。 感電の原因となることがあります。	

もくじは10ページにあります。



本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。
マークが付いている記述は、必ずお読みください。

それぞれのマークには次のような意味があります。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたいこと（操作）を示しています。



補足説明や、知っておいていただきたいことを記載しています。

用語*1　用語の説明を、欄外に記載していることを示しています。



関連した内容の参照ページを示しています。参照先が「ユーザーズガイド」になっている場合は、CD-ROMに収録されているユーザーズガイド（PDF）のページを示しています。

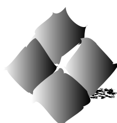
表記について

Microsoft® Windows®95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®98 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows®2000 Operating System 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows2000と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows2000を総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は「Windows95/98/NT4.0/2000」のようにWindowsの表記を省略することがあります。

画面について

本書に掲載するWindowsの画面は、特に指定がない限りWindows98の画面を使用しています。

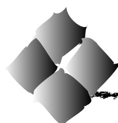


本書の構成

詳しいもくじは次のページにあります。

Windows95/98/NT4.0/2000 をお使いの方のみお読みください。 Win

Macintosh をお使いの方のみお読みください。 Mac



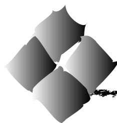
もくじ

第1章

本機の紹介

LP-830C Introduction

ここでは本機の特長や、各部の名称と働きについて説明しています。



本機の特長

本機は、Windows95/98/NT4.0/2000およびMacintoshでの使用時、各色最大256階調でのフルカラー印刷が可能なカラーレーザープリンタです。本機の特長は次の通りです。

●オイルレス定着器の採用

定着オイルのユーザー交換を必要としません。印刷結果のてかりを抑えた自然な色合いで印刷します。

●高速印刷

高速エンジンに、ハイパフォーマンスコントローラを組み合わせ、さらにパラレルインターフェイスのIEEE 1284 ECP[*1]モード対応などにより大幅なスループット向上を実現しています。

（A4普通紙 コピーモード時）

A4カラー印刷時	6PPM[*2]
A4モノクロ印刷時	26PPM

●ハガキ～A3W（ノビ）までの各種サイズの用紙に対応

最大でA3W（ノビ）（328mmx453mm）の用紙への印刷に対応しています。A3（297mmx420mm）より大きい範囲への印刷が可能です。

●自動両面印刷（オプションの両面印刷ユニット装着時のみ）

オプションの両面印刷ユニット（LPCDSP1）を装着することにより、用紙の両面に自動的に印刷することができます。両面印刷ユニットについては、以下のページを参照してください。

☞ユーザーズガイド「両面印刷ユニット（オプション）について」22ページ

●コピーシステム（オプションのコピーシステムROMモジュール装着時のみ）

オプションのコピーシステムROMモジュール（CS-6500）を装着して別売りのスキャナを接続すれば、カラーコピー機としてもご利用いただけます。

●CPGI機能による、高画質のカラー印刷

EPSON独自のCPGI[*3](Color Photo&Graphics Improvement)機能により、三原色の各色最大256階調の表現が可能になり、写真などの微妙な色調やグラデーションのある印刷データをより美しく印刷することができます。

●RIT機能による、なめらかな文字や曲線の印刷

RIT[*4]（Resolution Improvement Technology）機能は、印刷時に走査線方向を2400dpiで、紙送り方向を600dpiの高精度で制御することにより、解像度1200dpiでの印刷に相当するなめらかな印刷を可能にするEPSON独自の機能です。カラー、モノクロ印刷どちらにも有効です。階調表現をより細かく制御することで、文字の輪郭や曲線などの印刷時、ギザギザのない美しい印刷が可能です。

*1 ECP：（Extended Capability Port）パラレルインターフェイスの拡張仕様の1つ。

*2 PPM：（pages per minute）1分間に印刷できる用紙の枚数（本機ではA4横送りの場合）

*3 CPGI：カラーの画像データが持つ微妙な色合いを鮮明に印刷するために、画像を構成する各ドット（点）をさらに分割することでシアン、マゼンタ、イエロー、黒の割合をより細かく制御するEPSON独自の機能。CPGI有効時、各色最大256階調の表現が可能になります。

*4 RIT：600dpi印刷時に走査線方向を2400dpi、紙送り方向を600dpiの高精度でコントロールすることで、1200dpi相当の高解像度印刷を実現するEPSON独自の機能。

●各種の色補正機能を装備

印刷の目的、印刷するデータに合わせて最適な色補正を行うことができます。

- オートフォトファイン!4
  EPSON独自の画像解析/処理技術を用いて、自動的に画像を高画質化して印刷する機能です。高度な画像編集ソフトを使って処理するようなプロの技を、簡単な操作で実現させることができます。（データそのものは補正されません。）
- ドライバによる色補正
  あらかじめ、写真やグラフィックなど印刷するデータに合わせた色補正の設定が用意されています。
  また、明度やコントラスト、シアン/マゼンタ/イエローの三原色を任意に設定して色補正を行うこともできます。
- ICM（Windows95/98）/ColorSync（Macintosh）
  ディスプレイ上での表示と、プリンタからの印刷結果の微妙な色の違いを補正するカラーマッチング機能です。
- sRGB[*1]（Windows）
  スキャナやディスプレイなどがsRGBに対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します。

*1 sRGB：
Microsoft 社とヒューレットパッカード社が共同で制定したRGBの色の規格。

●印刷内容に合わせてスクリーン線数を選択可能

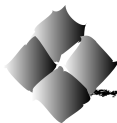
写真などの微妙な色調やグラデーションのある画像を印刷したい場合や、小さい文字や細い線をはっきりと印刷したい場合、それぞれの目的に合わせてスクリーン（線数）をプリンタドライバ上で選択できます。

- 自動　　　：スクリーン線数を自動的に設定します。
- 階調優先　：スクリーン線数 165lpi[*2]。微妙な色調や階調を再現した印刷ができます。
- 解像度優先：スクリーン線数268lpi。小さい文字や細い線をはっきりと印刷できます。

*2 lpi：
ハーフトーンスクリーンを再現するためのセルの密度。
1インチあたりのセルの数を線数として表わします（Lines Per Inch）。

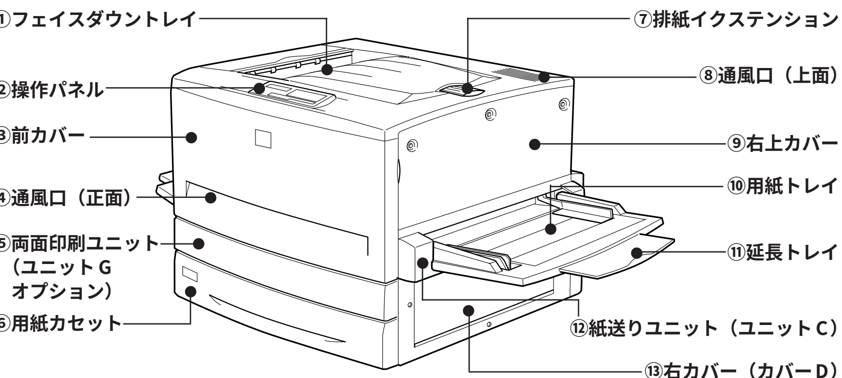
●国際エネルギースタープログラムに対応した省電力設計

節電機能を使用すると、印刷終了後60分（30分、120分、180分の設定も可）経過すると消費電力30W以下になり、消費電力を節約できます。



各部の名称と働き

正面/右側面



① フェイスダウントレイ
印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

② 操作パネル
プリンタの状態を示す液晶ディスプレイやランプ、特別な操作の際に押すスイッチがあります。

③ 前カバー
ET カートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックスを交換するときに開けます。通常は閉じて使用します。

④ 通風口（正面）
プリンタの過熱を防ぐための空気取り入れ口です。プリンタの据置の際には、通風口をふさがないようにしてください。また通風口のそばに燃えやすい物を置かないでください。

⑤ 両面印刷ユニット（ユニットG）
オプションの両面印刷ユニットを装着すると、用紙の両面に印刷できます。

⑥ 用紙カセット
普通紙、上質普通紙、コート紙がセットできます。（A3、A4、B4、B5、LT、LGL、B）
用紙は印刷面を下にしてセットします。

⑦ 排紙イクステンション
A3W（ノビ）のような大きなサイズの用紙に印刷する際に、用紙を保持するために引き出します。

⑧ 通風口（上面）
プリンタの過熱を防ぐための空気の通風口です。プリンタの据置の際には通風口をふさがないようにしてください。また通風口の上に物を置いたり、内部に異物を入れないようにしてください。

⑨ 右上カバー
オプションの増設メモリ / ハードディスク /ROM モジュールなどを取り付ける場合に取り外します。取り外す場合は、必ず電源をオフにしてください。

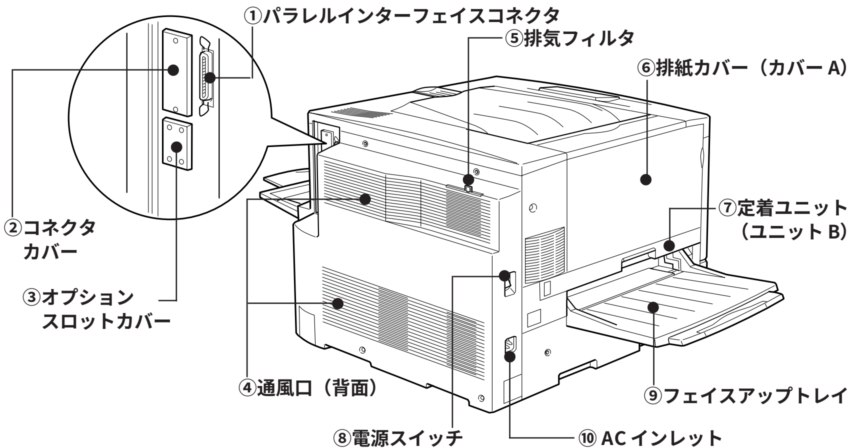
⑩ 用紙トレイ
普通紙、上質普通紙のほか、各種の特殊紙がセットできます。
用紙は印刷面を上にしてセットします。

⑪ 延長トレイ
大きいサイズの用紙をセットする場合に、用紙を支えるために引き出して使用します。

⑫ 紙送りユニット（ユニットC）
給紙時の紙詰まりが発生した場合に、右側に引き出して詰まった用紙を取り除きます。通常は閉じて使用します。

⑬ 右カバー（カバーD）
給紙時に紙詰まりが発生した場合に、このカバーを開けて詰まった用紙を取り除きます。通常は閉じて使用します。

背面/左側面



① パラレルインターフェイスコネクタ

パラレルインターフェイスケーブルを接続します。

② コネクタカバー

オプションのインターフェイスカードを差し込むスロットのカバーです。

③ オプションスロットカバー

オプションのコピーサーバカードを差し込むスロットのカバーです。

④ 通風口（背面）

プリンタの過熱を防ぐため、内部で発生する熱を放出します。プリンタの据置の際には、通風口をふさがないようにしてください。また通風口のそばに燃えやすい物を置かないでください。

⑤ 排気フィルタ

通風口からのホコリなどを防ぎます。常に取り付けた状態で使用してください。

⑥ 排紙カバー（カバーA）

排紙時に紙詰まりが発生した場合に、このカバーを開けて詰まった用紙を取り除きます。通常は閉じて使用します。

⑦ 定着ユニット（ユニット B）

定着器が内蔵されています。プリンタ内部での紙詰まりが発生した場合に左側に引き出します。通常は閉じて使用します。内部は高温になっているため、引き出した際は手など触れないようにご注意ください。

⑧ 電源スイッチ

「｜」側を押すと電源がオンになります。
「○」側を押すと電源がオフになります。

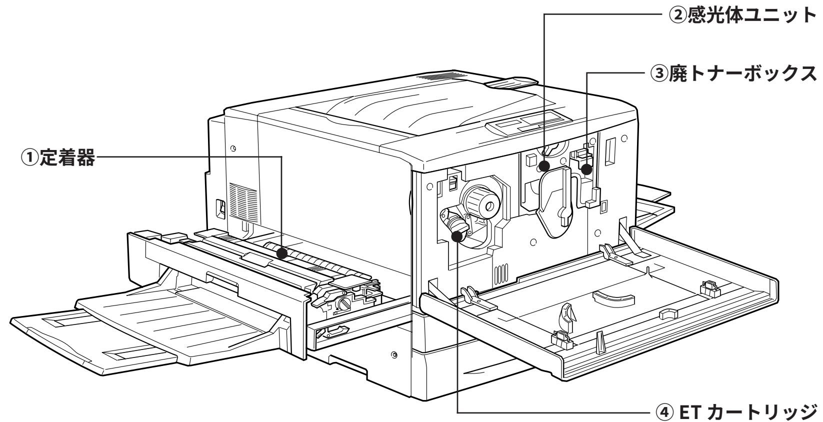
⑨ フェイスアップトレイ

印刷した用紙が、印刷面を上にして排紙されます。使用しないときは上に折りたたみます。

⑩ AC インレット

電源コードのプラグを接続します。

本体内部



① 定着器

用紙にトナーを定着させる装置です。内部は高温になりますので絶対に手を触れないでください。火傷するおそれがあります。

② 感光体ユニット

感光体、感光体クリーナー、廃トナーボックス、帯電ローラで構成されたユニットです。感光体に電荷を与えて印刷する画像を作ります。操作パネルに［カンコウタイユニット コウカン］と表示されたら交換します。

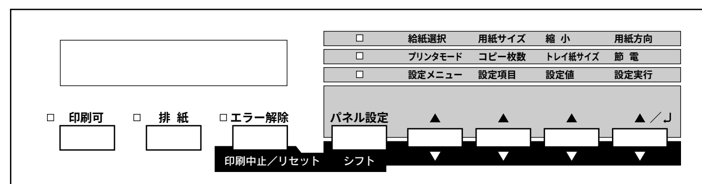
③ 廃トナーボックス

印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。廃トナーがいっぱいになったら交換します。廃トナーボックスは感光体ユニットに組み込まれているため、感光体ユニットを交換すると廃トナーボックスも交換されます。また、別々でも交換できます。

④ ET カートリッジ

印刷用トナーが入っています。黒、イエロー（黄）、シアン（青）、マゼンタ（赤）の4本をセットします。トナーがなくなったら、その色のET カートリッジを交換します。

操作パネル



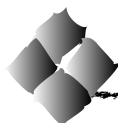
操作パネルの詳細については、ユーザーズガイド「操作パネルについて」141 ページを参照してください。

第2章

プリンタ本体の準備

LP-8300C Setting up your printer

印刷を始める前のプリンタの準備作業を説明しています。



保護材の取り外し

開梱から据置までの作業が終了したら、保護材の取り外しと付属品の取り付けを行います。

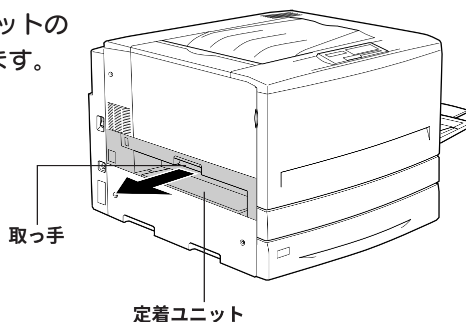


付属品の取り付けが終了するまで、電源コードは接続しないでください。

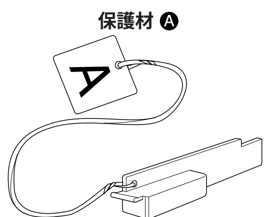
本製品には Ⓐ ～ Ⓖ の７箇所に保護材が取り付けられています（プリンタ本体上面に貼付のシート「以下の保護材を取り外してください」参照）。以下の手順に従って全ての保護材を取り外してください。
また、操作パネルの保護シートもはがしてください。

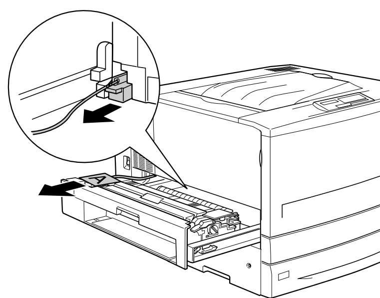
保護材 Ⓐ の取り外し

1. プリンタ左側の定着ユニットの取っ手を持って引き出します。



2. 保護材 Ⓐ（オレンジ）を引き抜いて取り外します。

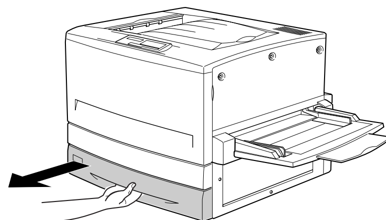




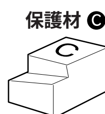
3. 定着ユニットを閉じます。

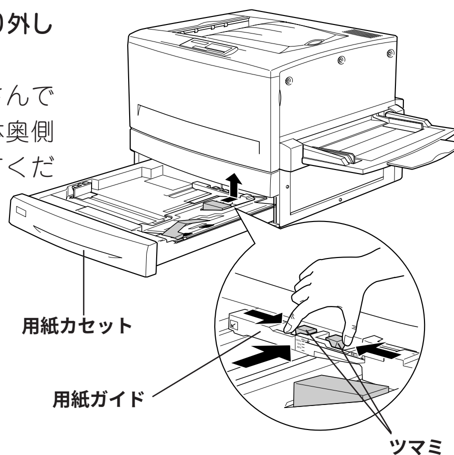
保護材 C と E の取り外し

1 プリンタ正面下部の用紙カセットの取っ手を持って引き出します。

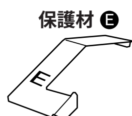


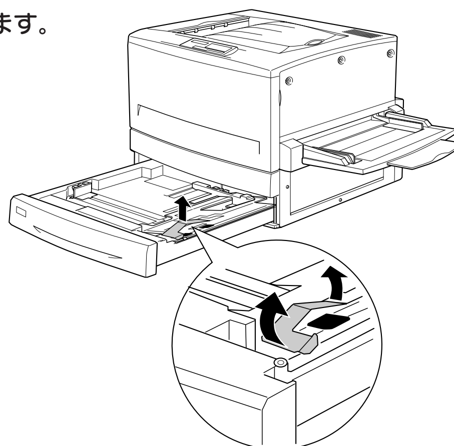
2 白色の保護材 C（白）を取り外します。
用紙ガイドのツマミをはさんで用紙ガイドをプリンタ本体奥側にずらしてから取り外してください。





3 保護材 E（白）を取り外します。

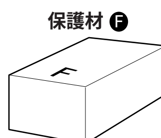


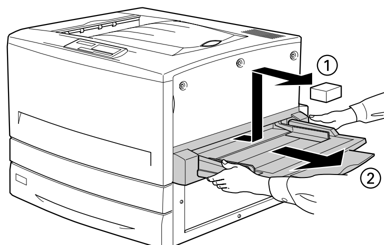


4 用紙カセットを閉じます。

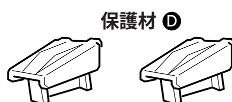
保護材 Ⓓ と Ⓕ の取り外し

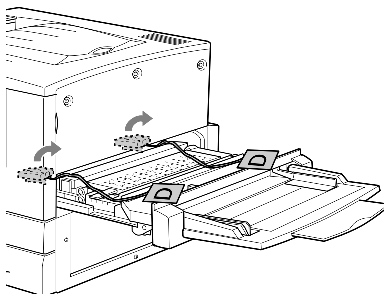
1 保護材 Ⓕ（白）を取り外してからプリンタ右側の紙送りユニットを引き出します。





2 紙送りユニット左右の保護材 Ⓓ（オレンジ）（２個）を取り外します。

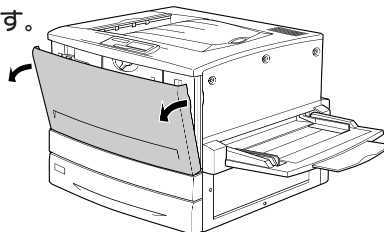




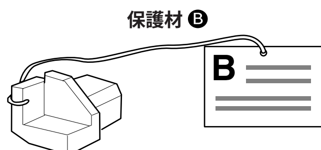
3 紙送りユニットを閉じます。

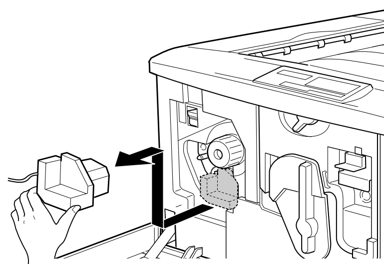
保護材 Ⓑ と Ⓖ の取り外し

1 プリンタ本体の前カバーを開けます。



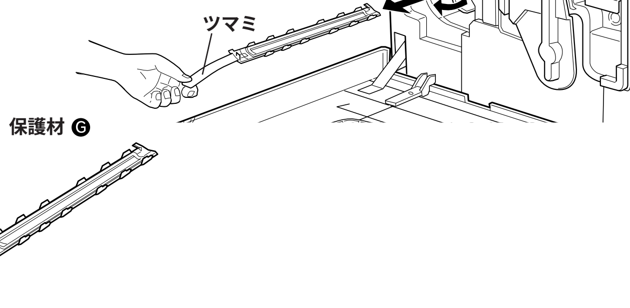
2 保護材 Ⓑ（白）を取り外します。





3 **ETカートリッジ装着口の保護材 Ⓖ（4 個）（オレンジ）を取り外します。**

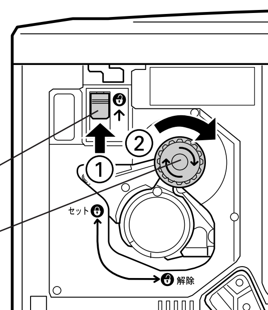
保護材 Ⓖ の端を持ち、手前に引き抜いて取り外します。



保護材 Ⓖ は、4つのETカートリッジ装着口に1つずつ取り付けられています。次の手順へ進んで残りの３個を取り外します。

4 **スイッチを上に押し上げてから、ノブを矢印の方向に回します。**

「カチッ」と音がしてスイッチが下がり、ノブがそれ以上回らなくなったことを確認してください。





- **スイッチを上げたら、スイッチから指を離してください。**
- **スイッチを上に押し上げていないと、ノブを回すことはできません。ノブが回らないときは無理に回さずに、スイッチを押し上げてから回してください。**

5 **次のETカートリッジ装着口が正面に来たら、保護材 Ⓖ を取り外します。**

3 と *4* の作業を繰り返し、4個の保護材 Ⓖ を全て取り外してください。

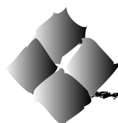
6 **前カバーを閉じます。**



前カバーが閉じない場合は、レバーをしっかりと回しているか確認してください。

●●●■ 次にフェイスアップトレイを取り付けます。

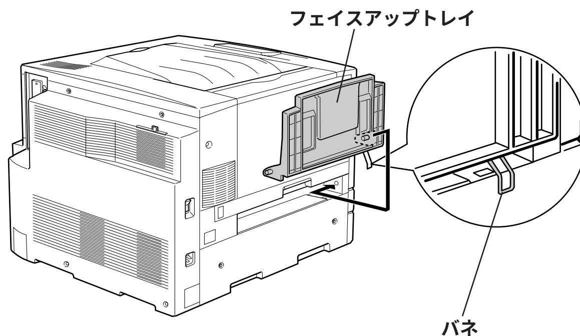
次のページに進みます。



フェイスアップトレイの取り付け

フェイスアップトレイをプリンタ左側の排紙口に取り付けます。

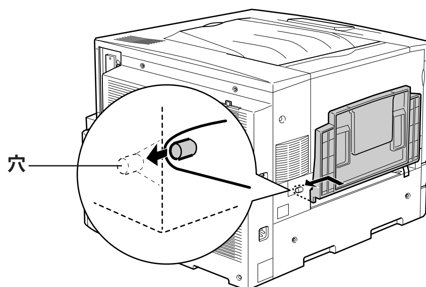
1 フェイスアップトレイ右側のバネをプリンタの排紙口の下部に押し付けるようにして、右側の突起をプリンタの排紙口の右側の穴に差し込みます。





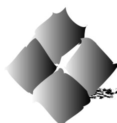
フェイスアップトレイ右側のバネをプリンタの排紙口の中に入れたまま取り付けないよう注意してください。

2 フェイスアップトレイの左側の突起をプリンタの排紙口の左側の穴に差し込みます。



●●●■ 次に ET カートリッジ、感光体ユニットを取り付けます。➡

次のページに進みます。



消耗品の取り付け

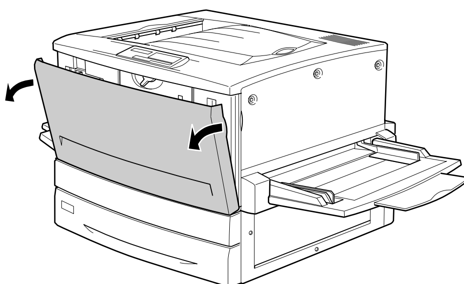
ETカートリッジの取り付け

ET カートリッジを取り付けます。



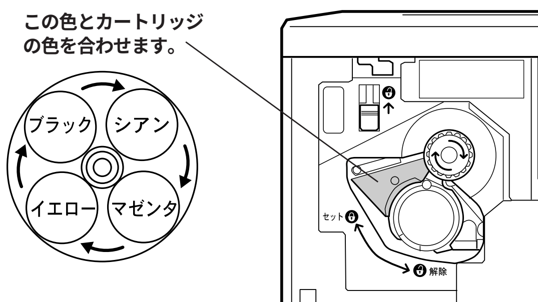
- **トナーは人体に無害ですが、体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。**
- **寒い場所から暖かい場所に移動した場合は、ETカートリッジを室温に慣らすため1時間以上待ってから作業を行ってください。**

1 前カバーを開けます。

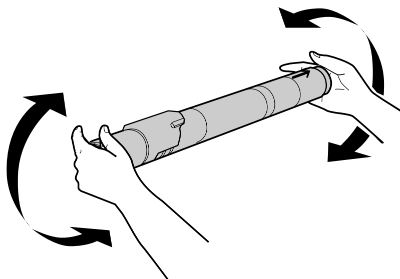


2 ETカートリッジの装着口には、セットするETカートリッジの色が示してあります。右下図の位置に表示されている色を確認して、同じ色のETカートリッジを用意します。

ET カートリッジの装着口は次のように回転します。

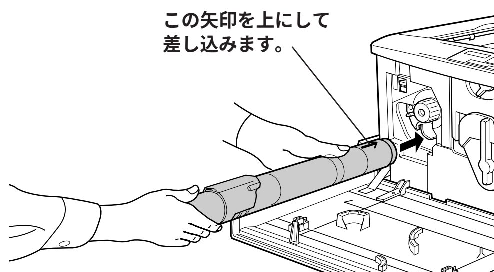


3 ETカートリッジを梱包から取り出し、図のように左右に傾けて7～8回振り、中のトナーを均一にします。

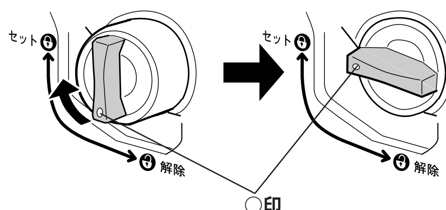


4 ETカートリッジ先端の矢印を上に向け、次の手順で装着します。

①ETカートリッジ先端の矢印を上に向け、装着口にまっすぐ差し込みます。
ETカートリッジが装着口の奥に当たり、これ以上押し込めなくなったら②に進みます。



②差し込んだETカートリッジ後端のツマミを持ち、ツマミの○がセットの位置にくるまで矢印の方向に約90度回します。ツマミを回すと同時にETカートリッジが装着口に押し込まれます。ツマミが水平になり、これ以上回らなくなったらETカートリッジの装着は完了です。





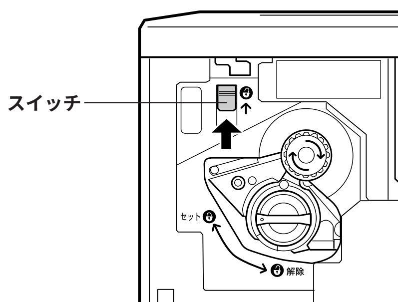
ETカートリッジのツマミはセットの位置に止まるまでしっかりと回してください。装着が不完全の場合は、トナー供給不足やトナー漏れの原因となります。

5 次のETカートリッジを装着します。

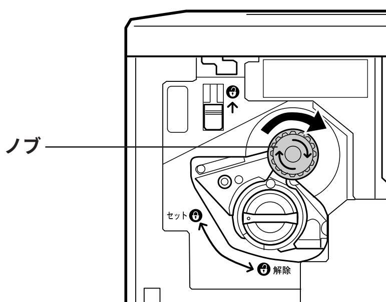
①スイッチを上に押し上げます。



スイッチを押し上げたら、スイッチから指を離してください。



②ノブを図の矢印の方向に回します。
「カチッ」と音がしてスイッチが下がり、ノブがそれ以上回らなくなると、次のET カートリッジ装着口が正面にきます。




ポイント

スイッチを上に押し上げていないと、ノブを回すことはできません。ノブが回らないときは無理に回さずに、スイッチを押し上げてから回してください。

6 **2から5の手順に従って4個のETカートリッジを全て取り付けます。**
4個めのET カートリッジを装着したら5の作業は不要です。

●●●■ 次に、感光体ユニットを取り付けます。➡
次のページに進みます。

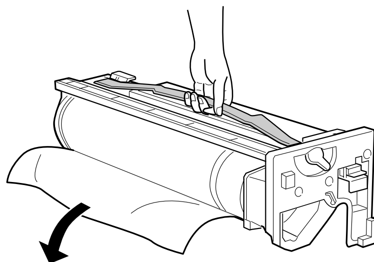
感光体ユニットの取り付け

感光体ユニットを取り付けます。

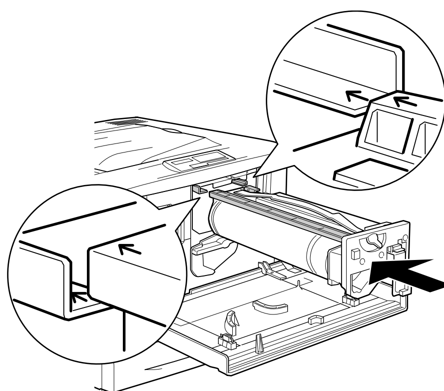
1 感光体ユニットを梱包から取り出し、保護シートをはがします。
感光体ユニットは、机の上などに置かず、必ず持ったままの状態で作業を行ってください。



- **感光体（青い円筒形の部分）の表面は手で触らないでください。また感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。**
  感光体の表面に手の脂が付いたり傷が付くと、印刷品質が悪くなります。
- **感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 5 分以上放置しないでください。**



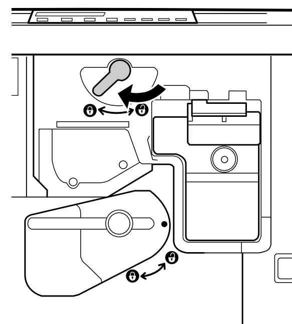
2 感光体ユニットの上部のオレンジ色の取っ手を持ち、左右のガイド部をプリンタ内のレールに合わせて、まっすぐ押し込みます。
感光体はプリンタの奥までしっかり押し込んでください。



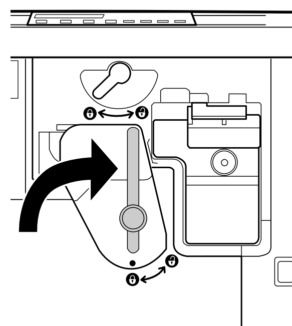


感光体ユニットのガイドは、プリンタ内のレールに正しく合わせて、プリンタの奥までしっかり押し込んでください。その際に、感光体（青い円筒部分）を他の部品に接触させないよう十分注意してください。

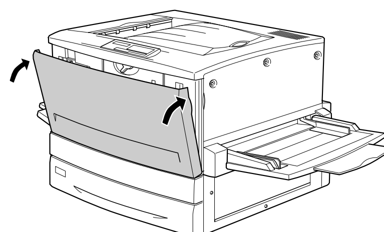
3 黄色いレバーを矢印の方向に、まで回します。



4 黄色いレバーを矢印の方向に、まで回します。



5 プリンタの前カバーを閉じます。





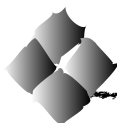
前カバーが閉じない場合は、レバーをしっかりと回しているか確認してください。

⚠警告

使用済みの感光体ユニットや廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

●●●■ 次に電源に接続します。➡

次のページに進みます。



電源との接続

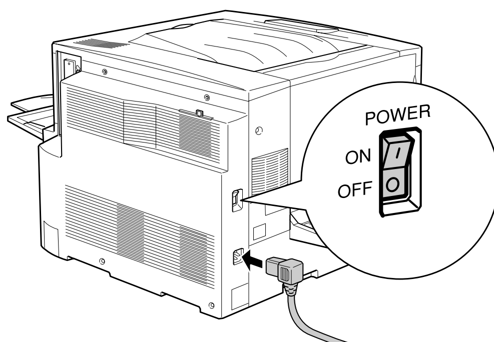
付属品やオプションの取り付けが終了したら、電源コードを接続します。

⚠警告

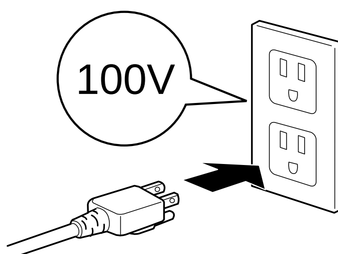
以下のページを参照して安全上のご注意をご確認の上、プリンタを電源に接続してください。

本書「安全上のご注意」2 ページ

1 プリンタの 電源 スイッチがオフになっていることを確認してから、プリンタ左側の AC インレットに電源コードを差し込みます。



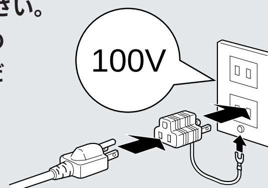
2 AC100V のコンセントに電源コードのプラグを差し込みます。




ポイント

コンセントに接地（アース）付きプラグを差し込めない場合は、付属のプラグ変換アダプタを使用してください。

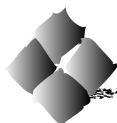
- **プラグ変換アダプタのアースを次のいずれかの場所に必ず接続してください。**
  電源コンセントのアース端子
  銅片などを 650mm 以上地中に埋めた物
  接地工事（第 3 種）を行っている接地端子
- **必ずアース線を接続してから、電源プラグを差し込んでください。**



アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

●●●■ 次に用紙をセットします。➡

次のページに進みます。



用紙のセット

ここでは、用紙カセットと用紙トレイへの用紙のセット方法を、普通紙/EPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙の場合を例に説明します。特殊紙をセットする場合は､用紙の種類によって注意事項がありますので以下のページを参照してください。

☞ユーザーズガイド「特殊紙への印刷について」23ページ

用紙カセットへの用紙のセット

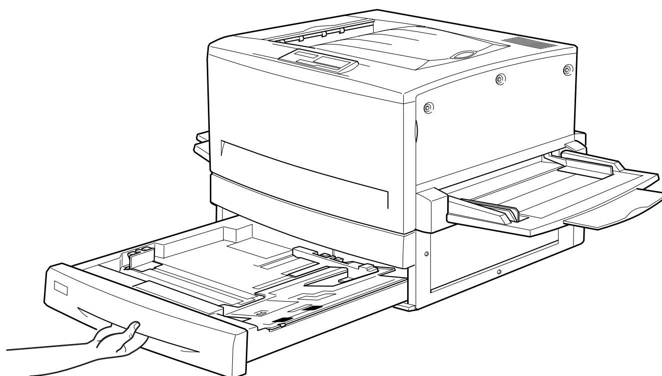
用紙カセットにセットできる用紙は次の通りです。



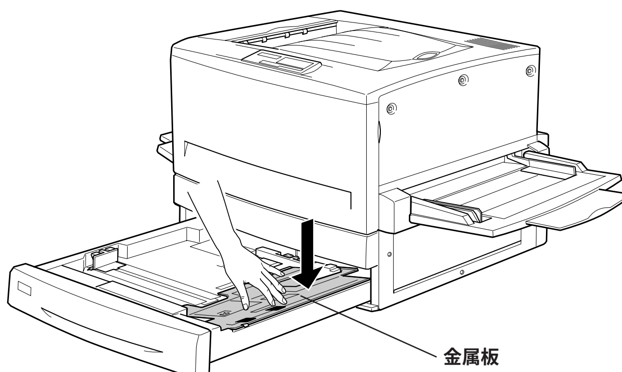
オプションの用紙カセットに用紙をセットする場合も、以下と同様の手順でセットしてください。

用紙種類	普通紙、EPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙、 EPSON製カラーレーザープリンタ用コート紙
用紙サイズ	A4、A3、B5、B4、Letter（LT）、Legal（LGL）、Ledger（B）

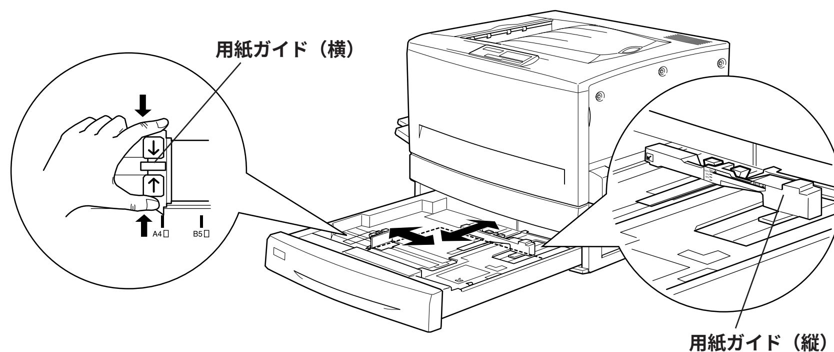
1 用紙カセットを手前に止まるまで引き出します。



2 用紙カセット内部の金属板がカチッと音がして固定されるまで押し下げます。



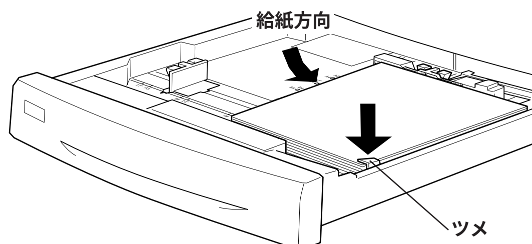
3 用紙ガイド（縦）/（横）を、用紙がセットできるようにずらします。



4 用紙をよくさばいて、端をそろえます。

5 用紙をセットします。

印刷する面を下に向けて、用紙カセットの右側のツメの下に差し込むようにしてセットします。



給紙方向に対して縦方向にセットする用紙	給紙方向に対して横方向にセットする用紙
A3、B4、Legal（LGL）、Ledger（B）	A4、B5、Letter（LT）

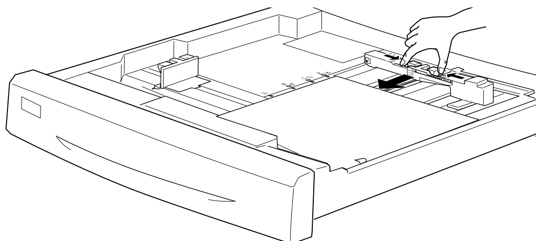

ポイント

用紙のセット時には、次の点に注意してください。

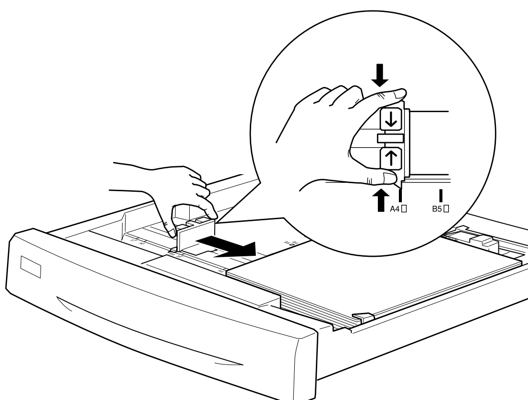
- **折り目やシワの入った用紙は取り除いてください。**
- **標準の用紙カセットは最大250枚（総厚26mm）までセットできます。オプションの増設カセットユニット（LP85CWC2/LP85CWC1）は最大500枚（総厚53mm）までセットできます。最大セット枚数以上の用紙をセットしないでください。**
- **用紙カセット右側のツメの上に用紙が乗り上げないように注意してください。**

6 用紙ガイド（縦）を用紙の幅に合わせてずらします。

用紙ガイド（縦）が用紙の側面に軽く当たる状態にしてください。



7 用紙ガイド（横）をずらして、用紙カセット底面の用紙サイズ目盛りに合わせます。




ポイント

用紙ガイド（横）は、必ず用紙カセット底面の用紙サイズ目盛りに合わせてください。用紙ガイド（横）は、用紙カセットの用紙サイズをプリンタ側に知らせる働きがあります。用紙ガイド（横）が用紙サイズ目盛りに合っていない場合、プリンタ側は用紙サイズを正しく検知できないため正常な印刷が行えません。

8 用紙カセットをプリンタ側に押し込みます。

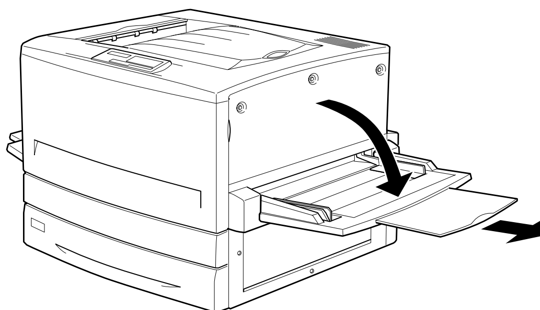
必要に応じて、操作パネルで［カセット 1 タイプ］を設定します。


ポイント

- **［カセット1タイプ］を設定することで、同サイズでタイプの異なる用紙をプリンタにセットした際の誤給紙を防ぐことができます。**
- **オプションの増設カセットユニットを装着している場合は、「カセット2～3タイプ」を設定します。**
  ☞ユーザーズガイド「階層設定モードでの設定方法」147 ページ

用紙トレイへの用紙のセット

1 用紙トレイを開いて、セットする用紙のサイズに応じて用紙トレイの延長部を引き出します。

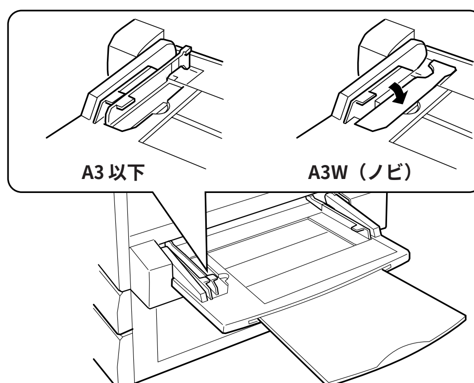


2 用紙ガイド（左）を確認します。

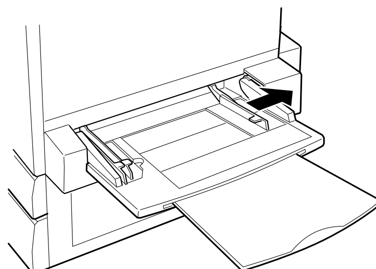
A3W（ノビ）など、用紙幅が304.8mmを超えるサイズの用紙をセットする場合は、用紙トレイ左側の折り畳み式の用紙ガイドを倒してセットします。


ポイント

用紙ガイド（左）を倒した状態でA3W（ノビ）以外の用紙をセットすると、印刷位置がずれるため正常な印刷が行われません。



3 用紙ガイド（右）を、用紙のサイズより広くなるようにずらします。



4 用紙をよくさばいて、端をそろえます。

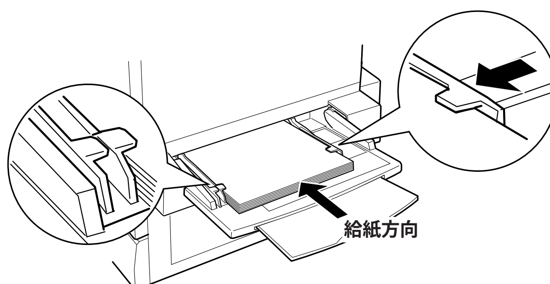
5 用紙をセットします。

①印刷する面を上に向け、左側面を用紙ガイド（左）に沿わせて用紙を用紙トレイに差し込みます。

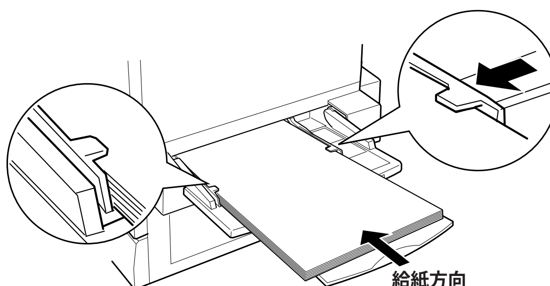
②用紙ガイド（右）を用紙の端に合わせてずらします。

給紙方向に対して縦方向にセットする用紙	給紙方向に対して横方向にセットする用紙
A3W（ノビ）、A3、B4、Legal（LGL）、Government Legal（GLG）、Ledger（B）、F4	A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、Government Letter（GLT）

< A3W（ノビ）以外の場合>



< A3W（ノビ）の場合>



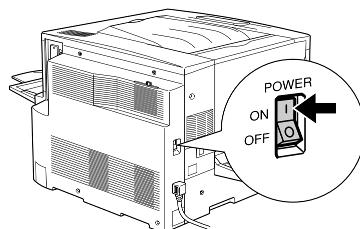

ポイント

用紙のセット時には、次の点に注意してください。

- **折り目やシワの入った用紙は取り除いてください。**
- **普通紙は最大150枚（総厚16mm）までセットできます。最大セット枚数以上の用紙をセットしないでください。**
- **用紙ガイドの上に用紙が乗り上げないように注意してください。**
- **用紙ガイド（右）は、用紙の端に軽く当たる状態にしてください。**

6 **プリンタ左側の電源スイッチをオンにします。**

操作パネルに「インサツカノウ」と表示されるまでお待ちください。

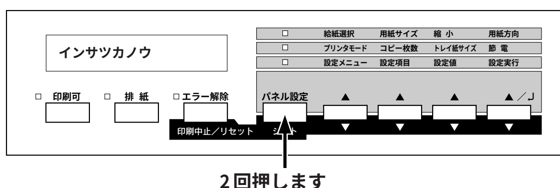




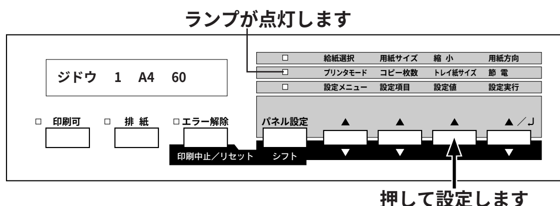
プリンタが印刷可能な状態になるまで約5分かかります。

7 **操作パネルで［トレイ紙サイズ］をセットした用紙のサイズに合わせます。パネル設定スイッチを2回押します。**

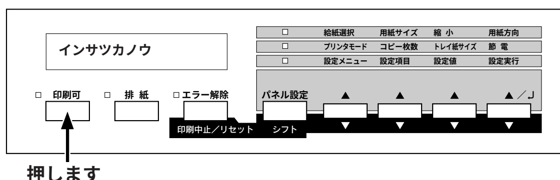
用紙トレイは、用紙サイズを自動的に検知できないため、用紙サイズを設定する必要があります。



8 **図のボタンを押して、用紙トレイにセットした用紙のサイズを選択します。**



9 **印刷可ボタンを押して設定を終了します。**

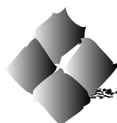


10 **プリンタの電源をオフにします。**



必要に応じて、[用紙トレイタイプ] を設定します。[用紙トレイタイプ] を設定することで、同サイズでタイプの異なる用紙をプリンタにセットした際の誤給紙を防ぐことができます。
☞ユーザーズガイド「階層設定モードでの設定方法」147 ページ

●●●■ 次にプリンタ本体が正常に動作するか確認します。➡
次のページに進みます。



動作の確認

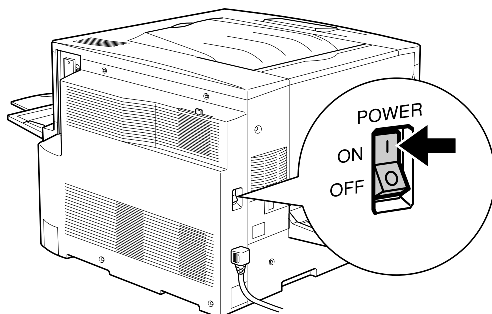
電源との接続と用紙のセットが終了したら､正常に動作するかを確認します。

1 **用紙カセットまたは用紙トレイにA4サイズの用紙（普通紙）がセットされているか確認します。**

用紙がセットされていない場合は､以下のページを参照してセットしてください。

☞本書「用紙のセット」29 ページ

2 **プリンタの左側の 電源 スイッチをオンにします。**



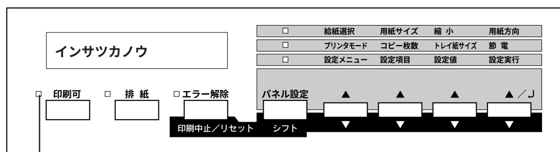
3 **プリンタが正常に動作すると、操作パネル上のランプの状態や液晶ディスプレイの表示が次の順番で変わります。**

①すべてのランプが点灯した後、消灯します。
液晶ディスプレイに「ROM CHECK」と表示されます。

②液晶ディスプレイの表示が「RAM CHECK XXXMB」に変わります。
このとき「XXX」にはプリンタに搭載されているメモリの容量が表示されます。
オプションの増設メモリを装着している場合､「XXX」が「標準装備のメモリ容量（32MB）＋増設メモリの容量」であることを確認します。

③液晶ディスプレイの表示が「システムチェック」に変わり、続いて「ウォームアップ」に変わって印刷可ランプが点灯します。

④約5分が経過（ウォームアップが終了）すると、液晶ディスプレイの表示が「インサツカノウ」に変わって印刷可ランプが点灯します。



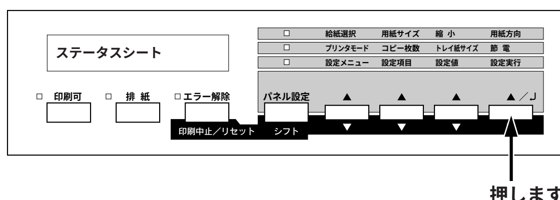
点灯します



プリンタのウォームアップは、約5分かかります。

4 **操作パネルの 設定実行 スイッチを押します。**

液晶ディスプレイに「ステータスシート」と表示されます。



5 **再度 設定実行 スイッチを押します。**

液晶ディスプレイの表示が点滅し、プリンタのステータス情報が印刷されます。

6 **印刷されたステータスシートをご覧いただき、次の点を確認します。**

- ステータスシートがきれいに印刷されているか。
- 「ハードウェア環境」の項で、プリンタに装着したオプション情報の内容が正しく印刷されているか。
  オプションを装着している場合、そのオプション名称が印刷されていればプリンタがオプションを正しく認識しています。増設メモリを装着している場合は、「実装メモリ容量」の項に標準装備のメモリ（32MB）と増設したメモリの合計容量* が印刷されます。

* メモリを最大の768MBに増設している場合は「768MB」と表示されます。

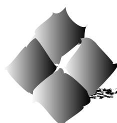
7 **プリンタの電源をオフにします。**


ポイント

- **ステータスシートの出力サンプルを本書巻末のカラーページに掲載してありますので、参考にしてください。**
  ☞本書「印刷機能の確認」88 ページ
- **ステータスシートが印刷されなかったり、印刷結果に問題がある場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。**

●●●■ 次にコンピュータと接続します。➡

Windows　「Windows環境のコンピュータとの接続」37ページ
Macintosh　「Macintoshとの接続」39ページ



コンピュータとの接続

動作の確認が終了したら、コンピュータとの接続を行います。
パラレルインターフェイスケーブルでコンピュータにローカル接続*1するか、オプションのI/Fカードを使用してネットワークに接続することができます。

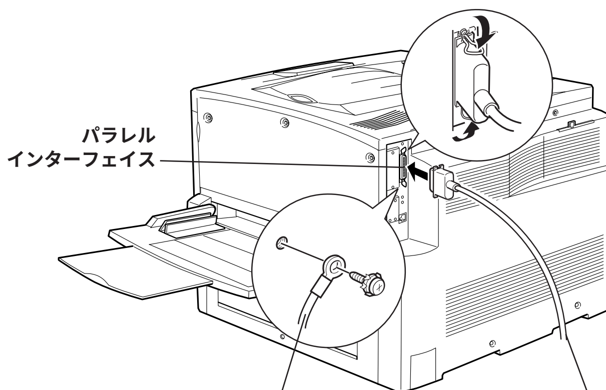
*1 ローカル接続：ご利用のコンピュータとプリンタをインターフェイスケーブルを使用して直接接続する接続方法。


ポイント
オプションのインターフェイスカードを使用しての接続については、オプションのインターフェイスカード取扱説明書を参照してください。

Windows環境のコンピュータとの接続

コンピュータのパラレルインターフェイスと、本機背面のパラレルインターフェイスとをケーブルで接続します。


注意
接続を行う前に、必ずコンピュータとプリンタの電源をオフにしてください。




ポイント
パラレルインターフェイスケーブルの詳細については次ページを参照してください。

●●●■ 次にインターフェイスケーブルの配線処理をします。➡

「インターフェイスケーブルの配線処理」40ページ

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの種類（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは次の通りです。

	メーカー	機種	接続ケーブル	備考
DOS/V 系	EPSON	DOS/V 仕様機	PRCB4N	―
	IBM、富士通、東芝、他各社			
	NEC	PC-98NX シリーズ		
PC98 系	EPSON	EPSON PC シリーズデスクトップ	＃ 8238	*1*2
		EPSON PC シリーズ NOTE	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1*2
	NEC	PC-9821 シリーズ（ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N	*1
		PC-9801 シリーズデスクトップ（14 ピン）	＃ 8238	*1*2*3
		PC-9801 シリーズ NOTE（ハーフピッチ 20 ピン）	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1*2*3

*1：拡張漢字（表示専用 7921 ～ 7C7E）は印刷できません。
*2：Windows95/98の双方向通信機能およびEPSONプリンタウィンドウ!3は、コンピュータの機能制限により対応できません。
*3：ハーフピッチ 36 ピンのコンピュータには PRCB5N をご使用ください。


ポイント

- **NEC PC-98LT/DO シリーズとは接続できません。**
- **NEC PC-9801LV/LX/LS/Nシリーズは NEC製の専用ケーブルを使用してください。**
- **推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。**
- **ECP モード対応コンピュータを ECP モードで接続する場合は、PRCB4N をご使用ください。**

Macintoshとの接続

本機と Macintosh を接続する場合は、オプションの I/F カード必要です。

型番	名称	解説
PRIFNW3	100Base-TX/10Base-T マルチプロトコル Ethernet I/F カード	本機をEthernet で接続するための増設オプションです。IPX/SPX、TCP/IP、NetBEUI、AppleTalk に対応しています。 接続には次のいずれかのケーブルが必要です。 • Ethernet 10Base-T ツイストペアケーブル • Ethernet 100Base-TX ツイストペアケーブル（カテゴリー5）
PRIF14	IEEE1394 対応 I/F カード	本機にIEEE1394 規格（FireWire）のインターフェイスを増設するためのオプションです。

I/F カードの装着方法については、以下のページを参照してください。
☞ユーザーズガイド「インターフェイスカードの取り付け」191 ページ

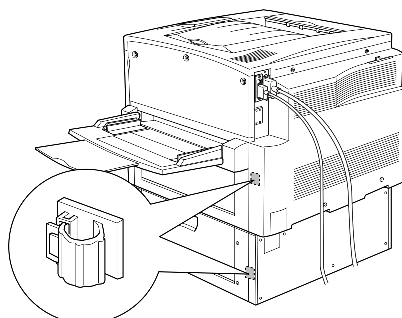
●●●■ 次にインターフェイスケーブルの配線処理をします。➡
「インターフェイスケーブルの配線処理」40 ページ

インターフェイスケーブルの配線処理

より快適な環境で本機をお使いいただくために、インターフェイスケーブルを接続した後、同梱の固定具を使用して以下の図のように配線処理をしてください。

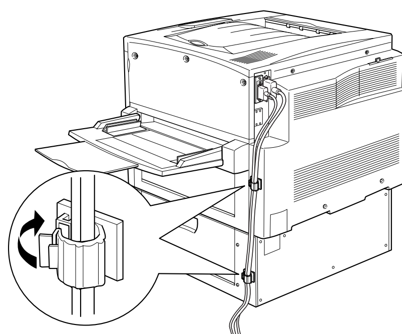
1 **同梱の固定具を図の位置に貼り付けます。**

オプションの増設カセットユニットを装着していない場合は、本体側 1 箇所のみに貼り付けます。



オプションの増設カセットユニット装着時

2 **固定具を開き、ケーブルを束ねて固定します。**



●●●■ **次にコンピュータの準備をします。** ➡

「Windows プリンタソフトウェアのセットアップ」41 ページ
「Macintosh プリンタソフトウェアのセットアップ」57 ページ

第3章

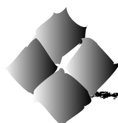
Windowsプリンタソフトウェアのセットアップ

Win

Macintosh プリンタソフトウェアをセットアップする場合は、57 ページをお読みください。

LP-8300C
Windows printer software

ここでは、Windows プリンタソフトウェア（プリンタドライバとEPSON プリンタウィンドウ!3）のセットアップ方法について説明しています。



システム条件の確認

Win

システム条件

使用するハードウェアおよびシステムの最低条件は以下の通りです。

OS	Windows95/98	WindowsNT4.0	Windows2000
CPU	i486SX®以上 （推奨 Pentium®以上）	i486SX®（25MHz）以上 x86系または Pentium® （推奨 Pentium®以上）	Pentium® （133MHz）以上
主記憶メモリ	8MB以上 （推奨32MB以上）	16MB以上 （推奨32MB以上）	64MB以上
ハード ディスク	10MB以上 （推奨200MB以上）	20MB以上 （推奨200MB以上）	40MB以上 （推奨200MB以上）
ディスプレイ	VGA（640×480）以上の解像度		

EPSONプリンタウィンドウ!3の動作環境

EPSONプリンタウィンドウ!3は、プリンタの状態を監視してエラーメッセージやトナーの残量などを表示できるユーティリティソフトです。プリンタドライバインストール後、引き続きインストールされます。

対象機種

●IBM PC-AT互換機（双方向通信機能*1のある機種）*2
●NEC PC-9821シリーズ（双方向通信機能のある機種）*3

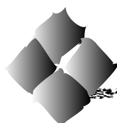
*1 ローカル接続でご利用の際、お使いのコンピュータのパラレルインターフェイスが、双方向通信機能に対応しているかは、各コンピュータメーカーにお問い合わせください。

*2 パラレルインターフェイスケーブルをご利用の場合は、「PRCB4N」を使用してください。

*3 パラレルインターフェイスケーブルをご利用の場合は、「PRCB5N」を使用してください。


ポイント

- **お使いのコンピュータの機種により、プリンタを接続するために使用するケーブルが異なりますのでご注意ください。**
- **ネットワークに接続して本機をご利用の場合に印刷の方法として「NetBEUI印刷」、「IPP印刷」、「DLC印刷」を使用すると、EPSONプリンタウィンドウ!3でのプリンタの監視はできません。**
- **NECのPC-9821シリーズをお使いの場合、WindowsNT4.0でのローカルプリンタの監視はできません。**
- **推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。**



セットアップ方法のご案内

プリンタの準備が整った後は、プリンタソフトウェア（プリンタドライバ・EPSON プリンタウィンドウ!3）をコンピュータにインストールします。



本製品のプリンタドライバは、CD-ROM にて提供しています。フロッピーディスクをご希望の場合は、以下のページを参照してください。
☞ユーザーズガイド「フロッピーディスクについて（Windows）」267 ページ

プリンタの接続形態によってインストール手順が異なりますので、下記の中から適切なセットアップ手順を探してお読みください。

ローカル接続でのセットアップ

プリンタを Windows 環境のコンピュータとインターフェイスケーブルでローカル（直接）接続した場合は、以下のページを参照してください。

●●●■「ローカル接続でのセットアップ」44 ページ ➡

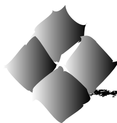
ネットワーク接続でのセットアップ

プリンタをWindowsのネットワーク環境にEthernetインターフェイスケーブルでネットワーク接続した場合は、以下のページを参照してください。

●●●■「ネットワーク接続でのセットアップ」47 ページ ➡



Windowsのネットワーク環境では、Windowsの標準機能を使ってプリンタを共有することができます。詳しくは、以下のページを参照してください。
☞ユーザーズガイド「プリンタを共有するには」75 ページ



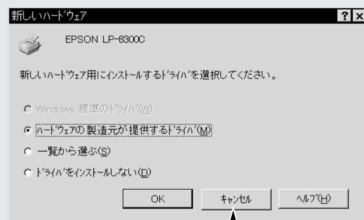
ローカル接続でのセットアップ

ローカル接続で本機をご利用の場合のインストール方法について説明します。

1 コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

Windowsの起動時に次のような画面が表示された場合は、キャンセルボタンをクリックしてください。

＜例 1 ＞ Windows95



クリックします



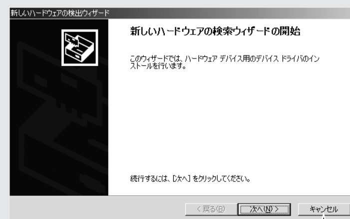
クリックします

＜例 2 ＞ Windows98



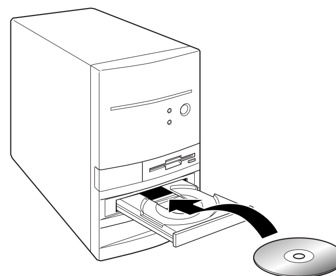
クリックします

＜例 3 ＞ Windows2000



クリックします

2 EPSON プリンタソフトウェア CD-ROMをコンピュータにセットします。



3 右の画面が表示されたら［ドライバ・ユーティリティのインストール］を選択して、［次へ］ボタンををクリックします。



上記の画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]内のCD-ROMアイコンをダブルクリックします。



4 お使いの機種のアイコンが選択されていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。
プリンタドライバのインストールが始まります。



①確認して
②クリックします

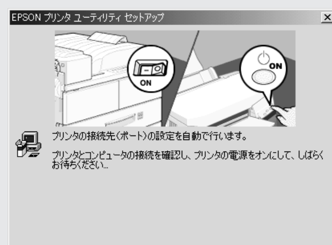
5 ［OK］ボタンをクリックします。
EPSONプリンタウィンドウ!3のインストールが始まります。



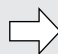
クリックします

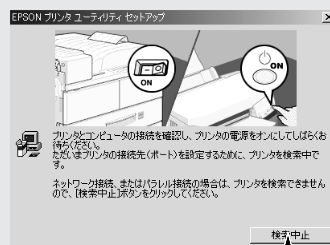

ポイント

- **Windows2000 をご利用の場合は、以下の画面が表示されます。10 秒程度すると 検索中止 ボタンが表示されますのでクリックします。印刷先のポートが LPT1 に設定されパラレルケーブル接続での印刷が可能になります。**



10 秒後

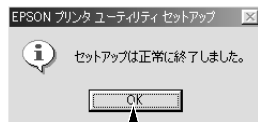




クリックします

- **オプションの PRIF14 を使用して FireWire 接続されている場合は、上記の画面が表示されたら必ずプリンタの電源をオンにしてください。**

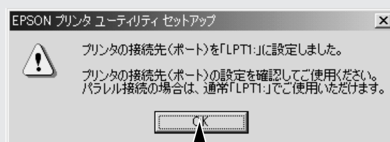
6 **OK ボタンをクリックして、コンピュータを再起動します。**
表示される画面は、ご利用の環境によって変わります。これでプリンタソフトウェアのインストールは終了です。



クリックします


ポイント

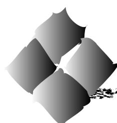
Windows2000をご利用の場合は、以下の画面が表示されることがあります。OK ボタンをクリックします。



クリックします

●●●■ 次にオプションの設定を行います。➡
「オプションの設定」54 ページ

●●●■ オプション品を装着していない場合は、ステータスシートを印刷して正しくセットアップできたか確認します。➡
「ステータスシートの印刷」56 ページ



ネットワーク接続でのセットアップ

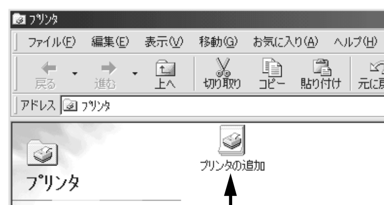
ここでは､ネットワーク環境が構築されている状態でネットワークプリンタに接続するためのセットアップ方法を説明します。
本機を使用して Ethernet 接続される場合は、オプションのI/F カード（PRIFNW3）が必要です。


ポイント

- **本機の標準パラレルインターフェイスを使用してネットワーク上でプリンタを共有することもできます。**
  ☞ユーザーズガイド「プリンタを共有するには」75 ページ
- **プリンタドライバは、プリンタ本体に同梱されている EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をお使いください。**
- **ここでは、サーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ワークグループ）接続方法について説明します。ご利用の環境によっては、以下の手順で接続できない場合もありますので､その場合はネットワーク管理者にご相談ください｡**
- **WindowsNT4.0/2000の場合､ローカルマシンの管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログオンし､セットアップを行ってください｡**
- **クライアントの OSが Windows2000 でサーバの OSが WindowsNT4.0 環境の場合は､以下のページの手順に従ってプリンタドライバをインストールしてから、ネットワークに接続してください。**
  ☞本書「ローカル接続でのセットアップ」44 ページ

1 スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。
画面は Windows98 のものを使用しています。



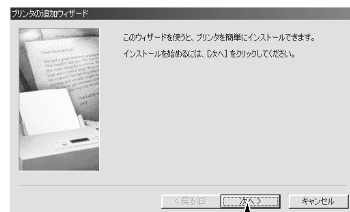
ダブルクリックします

- Windows95/98 をお使いの場合は、48 ページの **3** へ進みます。
- WindowsNT4.0 をお使いの場合は、49 ページの **3** へ進みます。
- Windows2000 をお使いの場合は、50 ページの **3** へ進みます。

Win

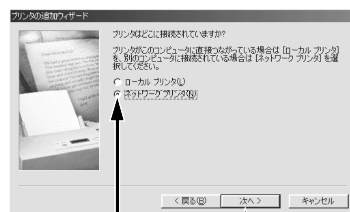
Windows95/98

3 次へ ボタンをクリックします。



クリックします

4 「ネットワークプリンタ」を選択してから、次へ ボタンをクリックします。

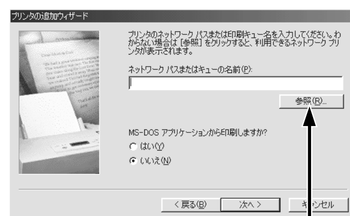


①クリックして　②クリックします

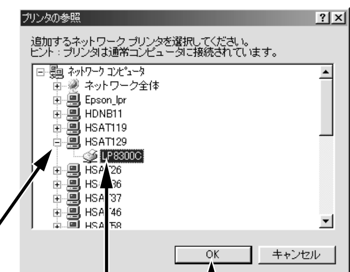
5 接続するネットワークプリンタを選択します。


ポイント

- **入力欄に以下の書式を半角文字で直接入力しても次の手順に進むことができます。**
  \\ 目的のプリンタが接続されているコンピュータ名 \ 共有プリンタ名
- **プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。**

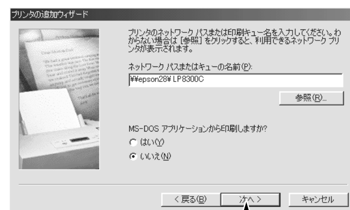


①クリックし



②プリンタを接続しているコンピュータ（サーバ）の + をクリックしてから

③プリンタをクリックして　④クリックします

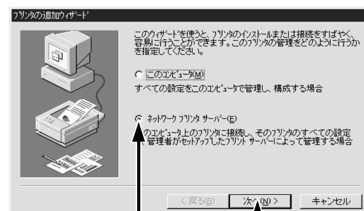


⑤クリックします

この後は、51ページの **6** に進みます。

WindowsNT4.0

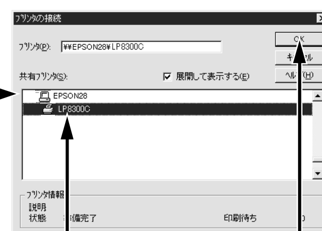
3 ［ネットワークプリンタサーバー］をクリックし、次へ ボタンをクリックします。



①クリックして　②クリックします

4 接続されているネットワークプリンタを選択します。

①プリンタを接続しているコンピュータ（またはサーバ）をダブルクリックし



②プリンタをクリックして

③クリックします

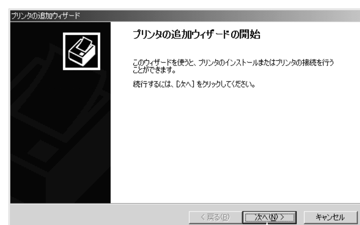
> **ポイント**
> - **入力欄に以下の書式を半角文字で直接入力しても次の手順に進むことができます。**
>   **\\目的のプリンタが接続されているコンピュータ名\共有プリンタ名**
> - **プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。**

この後は、51ページの  に進みます。

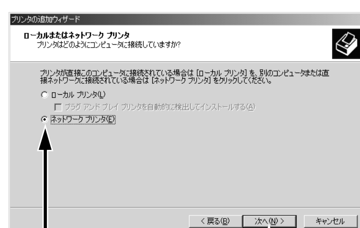
Win

Windows2000

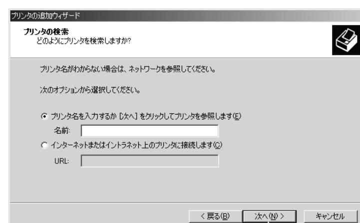
3 次へ ボタンをクリックします。



4 「ネットワークプリンタ」を選択してから、次へ ボタンをクリックします。



5 接続するネットワークプリンタを選択します。



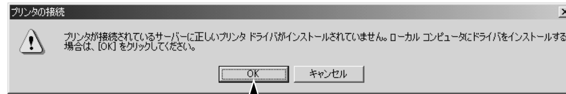


ポイント

- **入力欄に以下の書式を半角文字で直接入力しても次の手順に進むことができます。**
  \\目的のプリンタが接続されているコンピュータ名\共有プリンタ名
- **プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。**

この後は 51 ページの  に進みます。

6 OK ボタンをクリックします。



クリックします


ポイント

プリンタを直接接続しているコンピュータにプリンタドライバがインストールされていて、そのコンピュータとお使いのコンピュータのOSが同じ場合、プリンタドライバは自動的にインストールされ、上記の画面は表示されません。また、以降の手順も必要ありません。

7 ディスク使用 ボタンをクリックします。

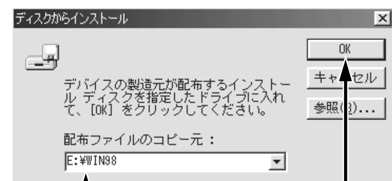
同梱のEPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタドライバをインストールします。



クリックします

8 EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットします。

9 プリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力して、OK ボタンをクリックします。



①半角で入力して　②クリックします

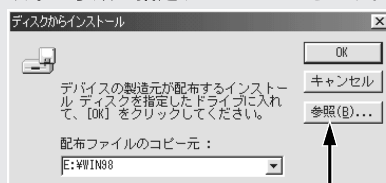
	Windows95/98	WindowsNT4.0	Windows2000
セット先ドライブ例	Dドライブ Eドライブ		
入力例	D:¥WIN9X E:¥WIN9X :	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40 :	D:¥WIN2000 E:¥WIN2000 :

Win



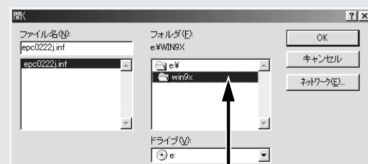
入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。

① 参照 ボタンをクリックします。



クリックします

②［ドライブ］または［ファイルの場所］から［CD-ROM］のアイコンを選択し、入力例に記載されているご利用のOSフォルダを選択します。



①選択して

②選択します

10 ご使用のプリンタ名をクリックして、次へ ボタンをクリックします。

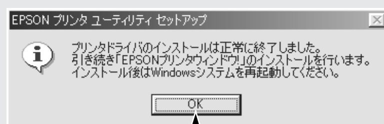


①クリックして　**②クリックします**

11 この後は、画面の指示に従って設定してください。

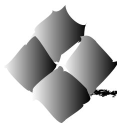

ポイント

- **Windows95/98をご利用の場合は、以下の画面が表示されます。OKボタンをクリックすると、EPSON プリンタウィンドウ!3 のインストールが始まります。**



- **WindowsNT4.0/2000をご利用で、EPSONプリンタウィンドウ!3をインストールされる方は、以下の手順に従ってください。**
  ① EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。
  ② 下の画面が表示されたら「EPSONプリンタウィンドウ!3のインストール」を選択して次へボタンをクリックします。





オプションの設定

Win

プリンタドライバでオプションの設定をします。オプションを装着していない場合は設定の必要はありません。「ステータスシートの印刷」（56ページ）へ進みます。

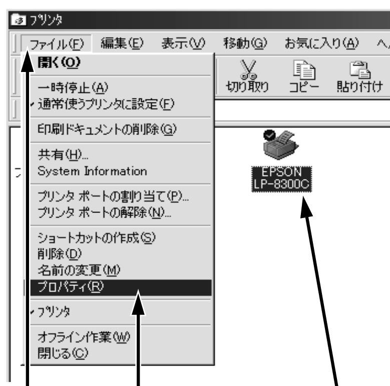

ポイント

WindowsNT4.0/2000の場合、管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンする必要があります。

1 プリンタの電源がオンになっているか確認します。

2 スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

3 お使いの機種のアイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。




ポイント

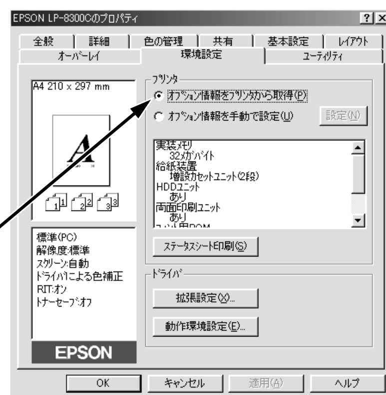
通信エラーが発生した場合は、OK ボタンをクリックしてください。5 の手順において、［オプション情報を手動で設定］を選択し、オプション情報を手動で設定してください。

4 ［環境設定］タブをクリックします。



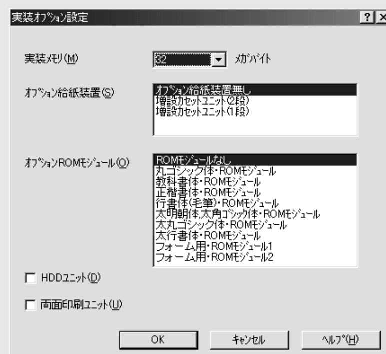
5 ［オプション情報をプリンタから取得］を選択します。

EPSONプリンタウィンドウ!3をインストールしていれば、オプションと給紙装置の情報を自動で取得できます。




ポイント

EPSONプリンタウィンドウ!3をインストールしていない場合や、3で通信エラーが発生した場合は、自動取得できませんので手動で設定します。［オプション情報を手動で設定］を選択し、設定ボタンをクリックして［実装オプション設定］ダイアログを開き、各項目を設定してください。



各項目の詳細については、以下のページを参照してください。

☞ユーザーズガイド「［実装オプション設定］ダイアログ」63 ページ

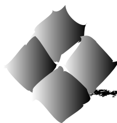
6 OKボタンをクリックします。

7 もう一度、3 を実行します。

3 を実行することにより、オプション情報が自動取得できます。
［環境設定］ダイアログでオプション情報が正しく設定されているか、ご確認ください。手動設定の場合は 7 の作業は必要ありません。

●●●■ **最後に、ステータスシートを印刷して、正しくセットアップできたか確認します。** ➡

「ステータスシートの印刷」56 ページ



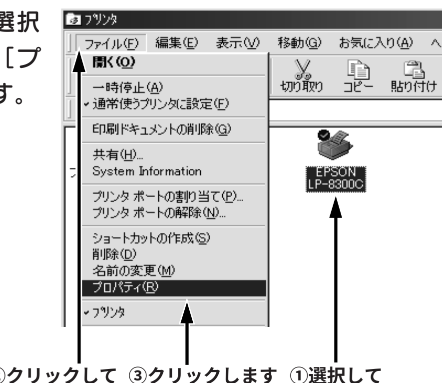
ステータスシートの印刷

プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷してみましょう。

1. プリンタとコンピュータの電源がオンになっていること、プリンタにA4サイズの用紙がセットされていることを確認します。

2. スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［プリンタ］をクリックします。

3. お使いの機種のアイコンを選択し、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



4. ［環境設定］タブをクリックし、ステータスシート印刷 ボタンをクリックします。
   プリンタの状態を記載したステータスシートが印刷されます。



5. ステータスシートの内容を確認します。
   - プリンタの設定状況を確認してください。
   - ステータスシートの出力サンプルが本書巻末カラーページに掲載してありますので、参考にしてください。
     ☞本書「印刷機能の確認」88 ページ


ポイント

印刷できないなどのトラブルが発生した場合は、ユーザーズガイド「困ったときは」（215 ページ）を参照してください。

以上ですべてのセットアップは終了です。

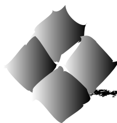
第4章

Macintoshプリンタソフトウェアのセットアップ

Windows プリンタソフトウェアをセットアップする場合は、41 ページをお読みください。

LP-8300C
Macintosh printer software

ここでは、Macintoshプリンタソフトウェアのセットアップ方法について説明しています。



システム条件の確認

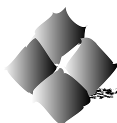
Mac

ご使用のMacintosh とシステムを確認してください。以下の条件に合わない場合、付属のプリンタドライバが使用できません（2000年６月現在）。

コンピュータ	Power PC 搭載機種
接続方法	AppleTalk 接続 オプションインターフェイスカード（型番：PRIFNW3)をプリンタに取り付けて接続します。
	FireWire 接続 オプションインターフェイスカード（型番　：PRIF14）をプリンタに取り付けて接続します。
システム	Mac OS7.6 以降のシステム ただし、Mac OS7.6以降のQuickDraw GXには対応していません。 （下記ポイントを参照ください。）
印刷時の空きメモリ（RAM）容量	16MB 以上
ハードディスク空き容量	3.5MB 以上 （インストール時 9MB 以上）


ポイント

漢字Talk7.5 以降の QuickDrawGX で本機を使用することはできません。
以下の手順で Quick DrawGX を使用停止にしてください。
①caps lock キーを解除しておきます。
②スペースバーを押したままにして Macintosh を起動します。
（機能拡張マネージャが開きます。）
③QuickDrawGX 拡張機能をクリックして［使用停止］にします。
（チェック印のない状態になります。）
④機能拡張マネージャを閉じます。



プリンタドライバのインストール

EPSON プリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているMacintosh用インストーラを実行してプリンタドライバをインストールします。


ポイント

Macintoshの場合、ネットワーク環境での特別な準備は必要ありません。本章の説明に従って、プリンタドライバをインストールしてから［セレクタ］でプリンタを選択してください。プリンタとコンピュータがネットワーク環境に接続されていれば、そのまま印刷することができます。

Mac

1. Macintosh の電源をオンにして起動します。

2. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブにセットします。

3. ［プリンタドライバのインストール］フォルダをダブルクリックして開きます。



4. ［LP-8300Cインストーラ］アイコンをダブルクリックします。



5. 続行 ボタンをクリックします。



Mac

6 ［簡易インストール］が選択されていることを確認してから、インストールボタンをクリックします。

プリンタドライバのインストールが始まります。



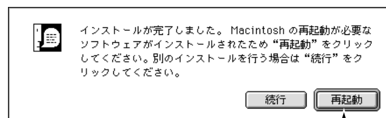

ポイント

- 初めてインストールする場合は、［簡易インストール］でインストールすることをお勧めします。必要なファイルだけを選択してインストールするには、ポップアップメニューから［カスタムインストール］を選択してインストールしてください。
- 以下の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して続行ボタンをクリックします。アプリケーションソフトを強制的に終了して作成中のデータが消えてしまう場合などは、キャンセルボタンをクリックしてインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタドライバをインストールしてください。


インストレーション終了後 Macintosh を再起動する必要があります。“続行”をクリックすると自動的にすべての起動中のアプリケーションを閉じます。“キャンセル”をクリックすればディスクに変更を加えることなく終了することができます。
キャンセル　続行

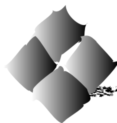
7 再起動ボタンをクリックします。

Macintosh が再起動し、インストールしたプリンタドライバが使用できるようになります。



●●●■ 次にプリンタドライバを選択します。

次のページに進みます。



プリンタドライバの選択

プリンタドライバをインストールした後は、次の手順でプリンタドライバを選択します。プリンタドライバを選択しないとアプリケーションソフトから印刷できません。

Mac

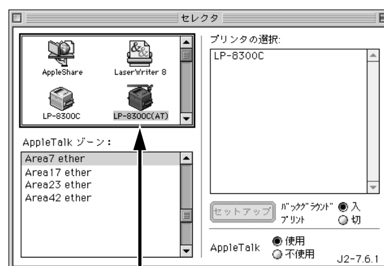
1 **プリンタの電源をオンにします。**
プリンタとコンピュータの接続を確認してから、プリンタの電源をオンにします。

2 **Macintoshを起動した後、アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**



①クリックして　②クリックします

3 **プリンタドライバ［LP-8300C(AT)］アイコンをクリックします。**
プリンタドライバ[LP-8300C]アイコンは、FireWire接続用のプリンタドライバです。オプションのFireWire接続用I/Fカードを装着した場合に選択してください。



クリックします


ポイント

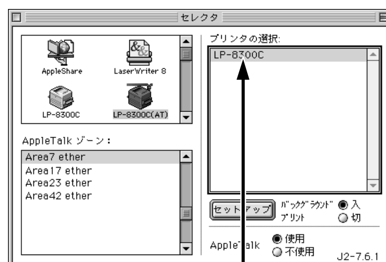
- **AppleTalk ゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーンを設定している場合に、表示されます。プリンタを接続したゾーンを選択してください。どのゾーンにプリンタを接続したかは、ネットワーク管理者の方にご確認ください。**
- **漢字Talk7.5以降のQuickDrawGXは使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDrawGXを使用停止にしてください。**
  ☞本書「システム条件の確認」58 ページ

Mac

4 プリンタ名を選択します。

接続したプリンタ名をクリックします。

FireWire接続の場合は、ポートを選択してください。




ポイント

- **機種名が表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているか確認してください。**
- **同一機種を複数接続している場合は、印刷に使用するプリンタ名を選択してください。**
- **プリンタ名が変更されている場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。**

5 ［バックグラウンドプリント］を設定します。

必要に応じて セットアップ ボタンをクリックし、各項目を設定します。

詳しくは、以下のページを参照してください。

本書「［プリンタセットアップ］ダイアログの設定」63ページ




ポイント

［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながらMacintoshでほかの作業ができます。ただし、ご使用のMacintoshによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。

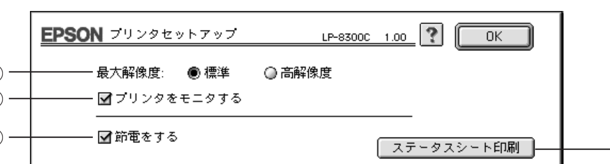
6 ダイアログ左上のクローズボックスをクリックして設定を終了します。

●●●■ 最後に、ステータスシートを印刷して、正しくセットアップできたか確認します。

「ステータスシートの印刷」64ページ

[プリンタセットアップ]ダイアログの設定

［プリンタセットアップ］ダイアログでは以下の項目を設定できます。



①最大解像度

プリンタが対応している解像度を、アプリケーションソフト側に伝えます。印刷を実行すると、アプリケーションソフトは伝えられた解像度の中から最適な解像度を選択し、データをプリンタドライバに渡します。

標準	：本機の解像度を72dpiまたは300dpiとしてアプリケーションソフト側に伝えます。通常は、この設定で使用してください。
高解像度	：本機の解像度を72dpi、300dpiまたは600dpiとしてアプリケーションソフト側に伝えます。アプリケーションソフトが600dpiでの印刷に対応している場合は、こちらを選択してください。印刷結果に問題のある場合は、［標準］の設定にして印刷してください。


ポイント

- **この項目は、印刷時の解像度を決定する設定ではありません。印刷解像度は［プリント］ダイアログの［モード設定］で設定します。**
- **［プリント］ダイアログで［モード設定］を［高品質］（600dpi）に設定して印刷すると、エラーが発生することがあります。この場合、本項目を［標準］に設定すると印刷できるようになることがあります。**

②プリンタをモニタする

EPSONプリンタウィンドウ!3でプリンタの状態を監視するかどうか選択します。

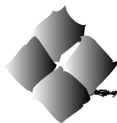
☞ユーザーズガイド「EPSONプリンタウィンドウ!3」128ページ

③節電をする

節電機能を有効にすると、印刷待機時の消費電力が少なくなります。ただし、印刷開始時にウォームアップするため、印刷開始が遅くなる場合があります。

④ ステータスシート印刷 ボタン

ボタンをクリックすると、プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。



ステータスシートの印刷

Mac

プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷してみましょう。

1 **アップルメニューから［セレクタ］をクリックし、プリンタドライバ［LP-8300C（AT)］アイコンを選択します。**
オプションのFireWire 接続用I/Fカードを装着した場合は、[LP-8300C]を選択してください。

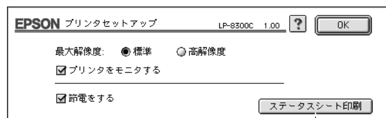
2 **プリンタ名を選択します。**
接続したプリンタ名をクリックします。
FireWire 接続の場合、ポートを選択します。

3 **セットアップ ボタンをクリックします。**
［プリンタセットアップ］ダイアログが開きます。



クリックします

4 **ステータスシート印刷 ボタンをクリックします。**
プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートが印刷されます。



クリックします

5 **ステータスシートの内容を確認します。**

- オプションを装着している場合はオプション情報が正しく取得されているかなど、プリンタの設定状況を確認してください。
- ステータスシートの出力サンプルが本書巻末のカラーページに掲載してありますので参考にしてください。
  ☞本書「印刷機能の確認」88ページ


ポイント

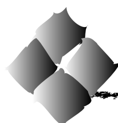
印刷できないなどのトラブルが発生した場合は、ユーザーズガイド「困ったときは」（215 ページ）を参照してください。

以上ですべてのセットアップは終了です。

付録

LP-830C

Appendix



ユーザーズガイド（PDF）の使い方

ユーザーズガイドは、本製品に同梱されているEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMにPDF（Portable Document Format）ファイルとして収録されています。このPDF ファイルを開くには、「Adobe® Acrobat® Reader®」というソフトウェアが必要です。

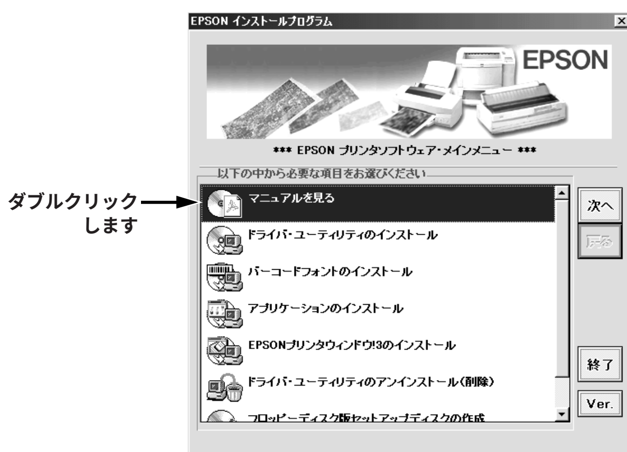
本製品に添付されているCD-ROMにはAcrobat Reader 4.0も収録されています。ご利用のコンピュータにAcrobat Readerがインストールされていない場合は、画面の指示に従ってインストールを行ってください。



WindowsでのPDFファイルの開き方と印刷方法

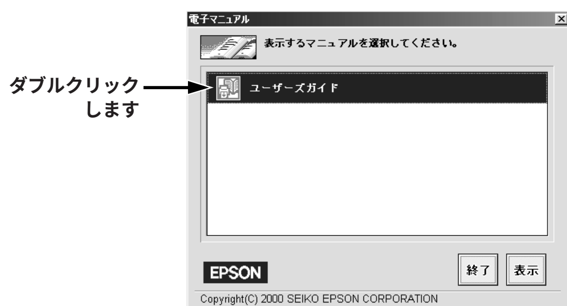
1 Windows を起動して、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2 下の画面が表示されたら［マニュアルを見る］をダブルクリックします。



3 下の画面が表示されたら［ユーザーズガイド］をダブルクリックします。

Acrobat Reader が起動して、選択したマニュアルが表示されます。





ご利用のコンピュータにAcrobat Readerがインストールされていない場合は、Acrobat Readerのインストーラが起動します。インストーラの画面の表示に従ってインストールを実行してください。

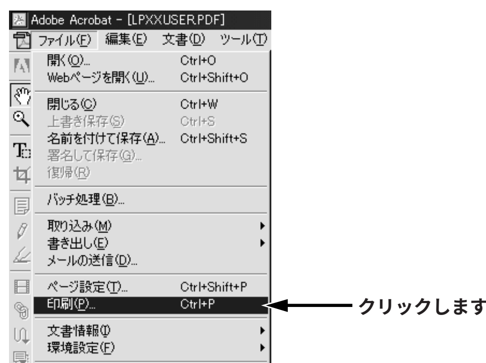
印刷してご覧になりたい場合は、以下の手順を続けてください。

4 プリンタに A4 または B5 サイズの用紙をセットします。

プリンタドライバの用紙サイズの設定を、セットした用紙サイズに合わせます。

☞ユーザーズガイド「［基本設定］ダイアログ」38ページ

5 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックして印刷を実行します。



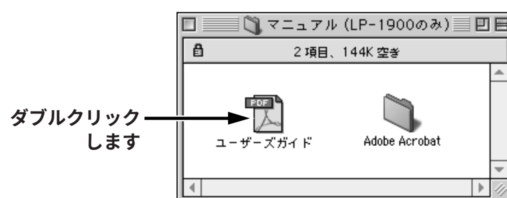
MacintoshでのPDFファイルの開き方と印刷方法

1 Macintoshを起動して、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットします。

2 ［マニュアル］フォルダをダブルクリックします。

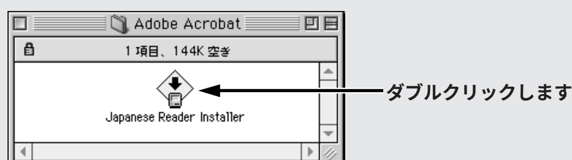


3 表示するマニュアルのファイルをダブルクリックします。
Acrobat Readerが起動して、選択したマニュアルが表示されます。





Acrobat Readerがインストールされていない場合は、最初に［Acrobat Reader］フォルダをダブルクリックして開き、［Installer］アイコンをダブルクリックしてインストールを実行してください。インストールは画面の表示に従ってください。



印刷してご覧になりたい場合は、以下の手順を続けてください。

4 プリンタに A4 または B5 サイズの用紙をセットします。

プリンタドライバの用紙サイズの設定を、セットした用紙サイズに合わせます。

☞ユーザーズガイド「[用紙設定］ダイアログ」104ページ

5 ［ファイル］メニューの［プリント］をクリックして印刷を実行します。



MEMO

MEMO

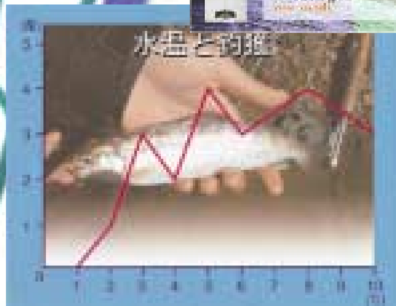
MEMO

カラーイメージングの世界へようこそ

Welcome to Color Imaging World

さまざまな写真データを活用して、インターカラー・レーザープリンタで印刷した例です。
カラーで印刷することにより、より豊かで説得力のある表現が可能となります。これをヒントに、お客様ご自身のアイデアを盛り込んだ楽しいカラー印刷に挑戦してください。

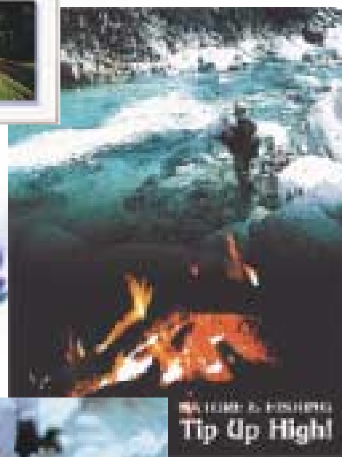














色の概念

普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」について説明しています。

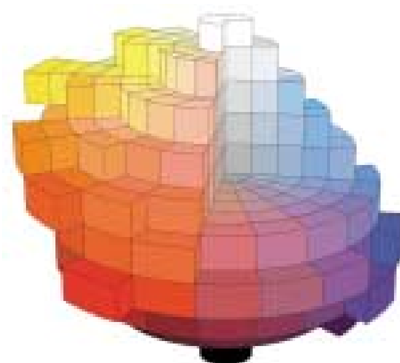
色の要素

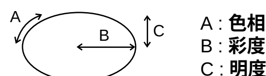
一般に「色」というと赤や青などの色相（色合い）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相の他に彩度、明度という要素があります。

彩度は鮮やかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。

明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。

右の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

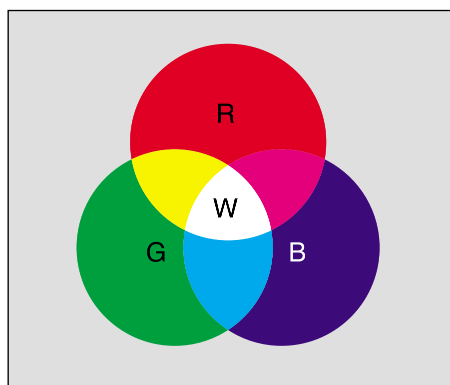




A：色相
B：彩度
C：明度

ディスプレイの発色プロセス＜加法混色＞

色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤(R)、緑(G)、青(B)の3色の光が見えます。これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら3色の組み合わせでさまざまな色を表現します。
この方法は、どの色も光っていない状態（全てが0:黒）を起点に、全ての色が光っている状態（全てが100:白）までを色を加えることで表現するため、CRTディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。

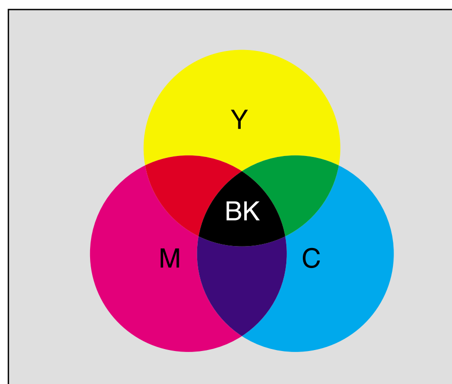


R:赤　G:緑　B:青　W:白

プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。
例えば「赤いインク」の場合、次のようになります。
一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（インク）が赤く見えるのです。

このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色のRGBではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)の3色です。この3色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

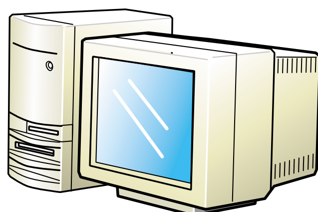


Y:イエロー　M:マゼンタ　C:シアン　BK:ブラック

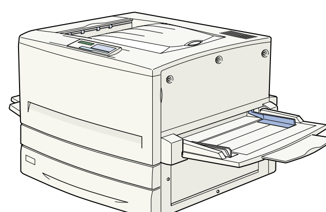
理論的にはCMYの3色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒（BK）インクを使用し、CMYBKの4色で印刷します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRTディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。



“光”の三原色で表示



“色”の三原色で印刷

この加法混色（RGB）→減法混色（CMY）変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの表示はディスプレイの調整状態によっても変化するため、ディスプレイ表示とプリンタからの出力結果を完全に一致させることはできません。このように発色方法の違いにより、ディスプレイ表示と実際の印刷出力の色合いに差異が生じます。
ただし、これらの差異をできる限り合わせこむことも可能です。
☞本書「より高度な色合わせについて」84ページ

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷(CMY)の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものもあります。

カラー印刷のポイント

8～16色程度のイラストを印刷する場合は、プリンタドライバやアプリケーションソフトでカラー印刷を行う設定さえしておけば、特別な準備や調整は不要です。しかし、本書の出力サンプルや販売店でご覧になった写真のような印刷を行うには、印刷データの調整やパソコン環境の整備が必要です。

カラー画像の印刷と必要メモリの関係

カラー画像の印刷には多くのメモリを必要とします。
印刷に必要なメモリの量は、画像データのサイズや印刷時の設定によって変わります。
必要メモリの量に関係する印刷時の設定は、次の2つがあります。

- 印刷サイズ
- 解像度（[標準]300dpi/[高品質]600dpi）

実際の印刷で必要となるプリンタのメモリの量は、印刷データやアプリケーションソフトにより異なりますが、通常使用における目安として下表を参考にしてください。また推奨のメモリサイズをプリンタに実装させることで、印刷速度の改善など、より効率的な印刷が可能になります。なおDTP出力などで複雑な印刷にご使用の場合は、768MB（最大時）まで増設することをお勧めします。

両面／片面	印刷サイズ	解像度	必要メモリ	推奨メモリ
片面	A4	標準	32MB	32MB
		高品質	32MB	64MB
	A3	標準	32MB	32MB
		高品質	64MB	96MB
両面	A4	標準	32MB	32MB
		高品質	32MB	64MB
	A3	標準	32MB	64MB
		高品質	64MB	128MB

また、カラー画像のデータサイズは、モノクロデータに比べ大きくなるため、ご利用のコンピュータのハードディスクの空き領域を十分に確保する必要があります。主な入力装置でのカラー画像データサイズは、下表のようになります。

入力装置／品質		原稿サイズ	画素数（ピクセル）	画像データ容量	
デジタルカメラ	350,000画素	ー	640×480	900	KB
	870,000画素	ー	1024×768	2.3	MB
	1,300,000画素	ー	1290×960	3.52	MB
	2,140,000画素	ー	1600×1200	5.5	MB
フイルムスキャナ	1200dpi	ー	1700×1100	5.4	MB
フラットベッドスキャナ	300dpi	4'×6'	1200×1800	6.2	MB
		A4	2550×3600	26.3	MB
	600dpi	4'×6'	2400×3600	24.7	MB
		A4	5100×7200	105.1	MB
	1200dpi	4'×6'	4800×7200	100	MB
		A4	10200×14000	420	MB
Photo CD	BASE	ー	768×512	1.1	MB
	4BASE	ー	1536×1024	4.5	MB
	16BASE	ー	3072×2048	18.0	MB

スキャナから画像を取り込む場合のポイント

ハイライト / シャドウ / ガンマの設定に注意する

ハイライトは画像の階調を有して最も明るい部分、シャドウは階調を有して画像の最も暗い部分です。ガンマはこれらの傾きです。この3点を適切に設定して取り込むだけで、おおむねきれいな画像が得られます。
スキャナの取扱説明書を参照し、ハイライト/シャドウ/ガンマを正しく設定した上で画像を取り込んでください(画像中の暗い部分が黒くつぶれないように、明るい部分が白くとばないように注意してください)。詳しくは、お使いのスキャナの取扱説明書をご覧ください。

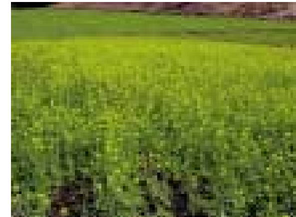




適切な設定



ハイライトが強い設定



シャドウが強い設定

Photo CD から出力する場合のポイント

Photo CDの画像を印刷で利用する場合、開いた画像をそのまま出力しても必ずしも高品位な出力結果は得られませんので、適切な処理が必要です(ハイライト/シャドウの設定、色かぶりの除去、シャープネス設定など)。
適切な処理をするためには、通常Photoshopなどのアプリケーションソフトで画像を補正しますが、本機のプリンタドライバで「オートフォトファイン!4」を使用して印刷すると、元データはそのままに、出力する画像に対して適切な処理を施し、高画質化して印刷することができます。

処理すべき内容・方法については、「Photo CD プリプレスリファレンス＊」などに詳しく記載されていますので、そちらを参照してください。
＊ Photo CD 制作サービスの窓口でお求めください。

環境を整える

大きなデータを扱うには、コンピュータの環境を整えることが必要になります。画像の読み書き・表示・印刷などの作業に影響を与える要素には、次のものが挙げられます。

メモリ・ハードディスクの容量

画像の読み書き・表示・印刷など、すべての作業効率に影響を与える重要な要素です。そのため、メモリやハードディスク（システムを起動しているドライブ、または仮想記憶領域を割り当てているドライブ）には十分な容量を確保してください。快適に作業するには、ハードディスクに、最低でも「扱う画像データ容量の2倍以上の空き容量」が必要です。高速なCPUを搭載していれば、さらに快適な作業が可能です。

ディスプレイアダプタの性能

フルカラーのデータを扱うには、WindowsではHighColor（65000色）以上、Macintoshでは32000色以上の色数を表示できるディスプレイアダプタおよびディスプレイドライバが必要です。さらに、表示色数だけでなく、表示速度も作業効率に影響を与える重要な要素です。

アプリケーションソフトの性能

メモリ・ハードディスクと同じく、画像の読み書き・表示・印刷など、すべての作業に影響を与える重要な要素です。画像の読み書きの速度は、アプリケーションソフトによって差があります。
また、カラーマッチング（表示および印刷）の点でも、モニタキャリブレーションの機能を持つものがベストな選択と言えます。
Photoshopなどの、本格的なグラフィックス向けのアプリケーションソフトを使用されることをお勧めします。

印刷解像度について

ディスプレイに表示される画像やプリンタで印刷される画像は、小さなドット(点)で構成されています。印刷解像度は、1インチ(約2.54cm)あたりにいくつの点があるかをdpi(dot per inch)という単位で表現し、この値が大きい方がきめの細かい印刷結果を得ることができます。

本機の印刷解像度は、300dpiまたは600dpiのいずれかを選択することが可能です。[詳細設定]ダイアログの解像度(Windows)/印刷品質(Macintosh)で[標準](300dpi)または[高品質](600dpi)を選択します。600dpiを選択すると、きめの細かいきれいな画像が印刷できますが、印刷時間は長くなります。また扱うデータ量が大きくなるため、メモリの増設が必要になる場合があります。印刷の目的に合わせて印刷解像度を選択してください。

● 300dpi



● 600dpi



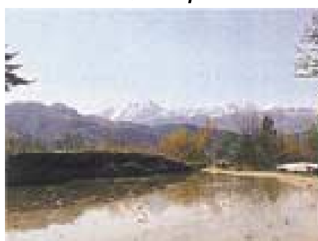
スクリーン線数について(解像度優先/階調優先)

印刷される画像の色の濃淡は、用紙上のトナーの点の密度を変化させることで表現します。
この点の密度をスクリーン線数と呼び、1インチ(約2.54cm)あたりの密度をlpi(line per inch)という単位で表現し、この値が大きい方が精密な印刷結果を得ることができます。
本機のスクリーン線数は、次の3つを選択できます。

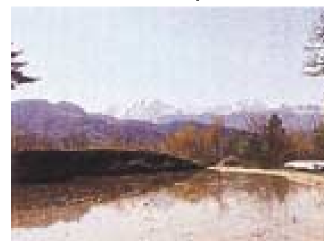
268lpi	プリンタドライバの[詳細設定]ダイアログで[解像度優先]を選択します。
165lpi	プリンタドライバの[詳細設定]ダイアログで[階調優先]を選択します。
268lpi/165lpi(自動選択)	プリンタドライバの[詳細設定]ダイアログで[自動]を選択します。

268lpi(解像度優先)を選択すると、細い線や細かい模様を正確に再現した印刷結果が得られます。
165lpi(階調優先)を選択すると、細い線や細かい模様などは正確に再現できない場合がありますが、色調の変化などをよりなめらかに表現した印刷結果が得られます。
[自動]を選択すると、印刷するデータに対して適したスクリーン線数を自動的に選択して印刷します。

● 165lpi



● 268lpi

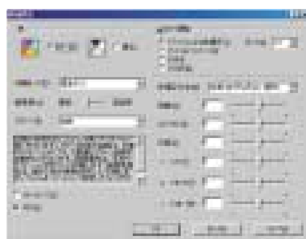


カラー調整

プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定モードは、通常[推奨設定]にしておけば、標準的な印刷結果が得られるように色調整されています。しかし、ここで行われる色調整は、一般的かつ一律的なレベルですので、さらに細かく調整をしたい場合には[詳細設定]で微調整(設定変更)を行ってください。

● *Windows ドライバ*



● *Macintosh ドライバ*



オートフォトファイン!4

オートフォトファイン!4とは、エプソン独自の画像解析/処理技術を用いて自動的に画像を高画質化して印刷する機能です。
一般的に、市場で「きれい」と感じられるデジタル画像には、ほとんどの場合、元データに対して何らかの「補正」がかけられています。通常、このような「補正」はフォトレタッチソフトなどを使用して行いますが、この作業には「色」に関する知識と、豊富な作業経験が要求されます。また、この作業には時間もかかります。このような難しい補正作業を、人の手に代わって自動的かつ短時間に行う機能が「オートフォトファイン!4」です。(印刷時に補正するだけで、元データに補正は加えません。)
この機能は、1ページ内に複数の画像イメージが存在する場合にも、それぞれのイメージに対して個別の解析を行い、最適な処理を実行します。

- ● 画像によって補正の効果は異なります。例えば、すでに適切な補正がかけられている画像などについては効果が薄くなります。
- ● 256 色などの色数の少ない画像データには有効に機能しないことがあります。
- ● 画像を解析しながら印刷処理を行うので、処理速度の遅いCPUを搭載しているコンピュータなどでは印刷時間が長くなります。
- ● ディスプレイ上の表示と印刷結果を合わせたいときは「ICM」(Windows)/「ColorSync」(Macintosh)を使用して印刷してください。
- ● EPSON製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン!4 は使用しないでください。

オートフォトファイン!4を指定して印刷を実行すると、プリンタドライバはまず画像全体の中から主要なオブジェクトを認識します。そして、そのオブジェクトを次のように解析して処理を行います。

RGBカラーバランスの補正 ➡ 色かぶりが補正されます。

オブジェクトのRGBごとのヒストグラムを分析し、RGBごとにトーンカーブ補正を行います。

解像度の補正 ➡ 低解像度の粗い画像をきめ細かく表現します。

画像データの解像度が低い場合、擬似的に解像度を上げて印刷します。

明るさの補正 ➡ 暗すぎる(露出不足)画像などが修正されます。

オブジェクトの明るさを分析し、輝度に対して最適なトーンカーブ補正を行います。

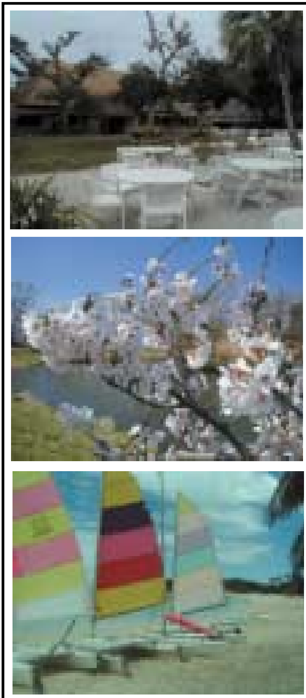
コントラストの強調 ➡ 中間調のコントラストが上がり、メリハリのある画像になります。

ヒストグラムの最小値と最大値を、それぞれ最適になるようにダイナミックレンジを拡大し、さらにヒストグラムの分布から、トーンカーブを画像に応じて適切に調整します。

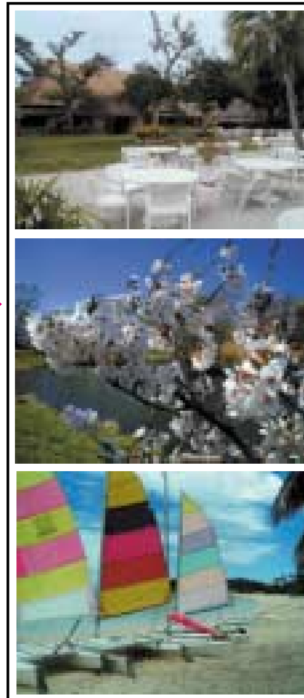
彩度の強調 ➡ 色あせた画像が鮮やかになります。

画像の彩度の程度を分析し、その程度に応じた彩度調整をかけます。

オートフォトファイン!4 OFF



オートフォトファイン!4 ON



● *明るさの補正*

● *コントラスト・彩度の強調*

● *RGBカラーバランスの補正*

※1ページの複数の画像に対して個別に適切な補正が行われます。

イメージ補正

明度の調整

プリンタ出力の結果がディスプレイ表示に比べて、色が暗い、または色が明るく飛んでしまうときに調整します。

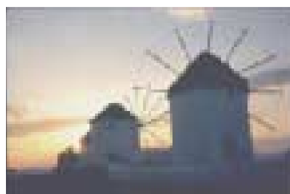

設定−


設定0


設定+

コントラストの調整

画像全体の明暗の差がはっきりしない、プリンタ出力の結果がディスプレイ表示に比べて全体的にぼやけているときに調整します。

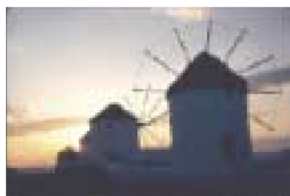

設定−


設定0


設定+

彩度の調整

プリンタ出力の結果を、もっと鮮やかに、色の深みを増したいときに調整します。


設定−


設定0


設定+

カラーコントロールの調整 ※画像はISO/JIS-SCIDのものを使用しています。

シアン・マゼンタ・イエローの濃淡を調整して、色合いを変えたいときに行います。

シアンの調整

プラス(＋)方向に上げると青緑色がかり、マイナス(ー)方向に下げるとシアンの補色である赤みが強くなります。


設定－


設定０


設定＋

マゼンタの調整

プラス(＋)方向に上げると赤紫色がかり、マイナス(ー)方向に下げるとマゼンタの補色である緑色が強くなります。


設定－


設定０


設定＋

イエローの調整

プラス(＋)方向に上げると黄色みが強くなり、マイナス(ー)方向に下げるとイエローの補色である青みが強くなります。


設定－


設定０


設定＋

より高度な色合わせについて

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるには、次の方法があります。

●ディスプレイを調整する（モニタキャリブレーション）

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。このように偏った表示をしている状態では、スキャナから取り込んだ画像やPhoto CDなどの画像は適切な明るさや色合いで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。
ディスプレイの調整については、以下を参照してください。

●カラーマネジメントシステムを使う

原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いを一致させるためのシステムとして、MacintoshではApple社の「ColorSync」、Windows95/98/2000ではMicrosoft社の「ICM」があります。カラーマネージメントシステムについては、次ページを参照してください。

ディスプレイの調整

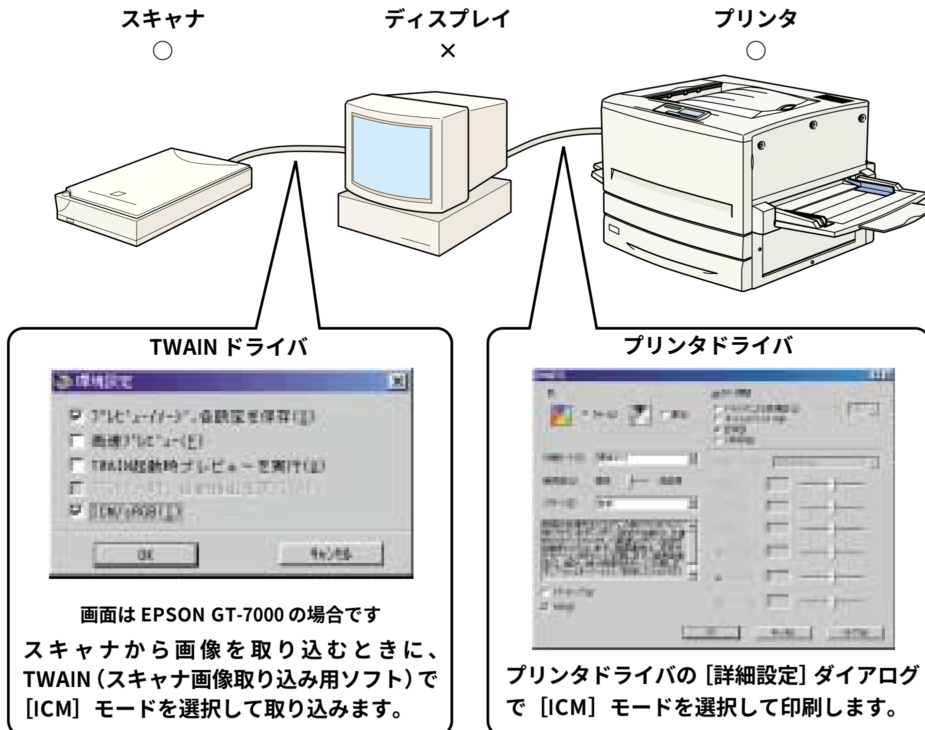
ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）は、本格的に行うと非常に手間のかかる作業で、また測定機器なども必要になります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

> これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いは原稿または印刷結果に近付けることができますが、すべてを近付けることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1. **ディスプレイの電源をオンにし、30分以上おいてディスプレイの表示を安定させます。**
2. **室内の照明環境を一定にします。**
自然光は避けて、なるべく一定の照明条件になるようにし、さらにフードを装着すると良いでしょう。
3. **ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500 Kに調整します。**
4. **ディスプレイのブライトネス調整を行います。**
ディスプレイで表示される「黒」が、「真っ黒」に近くなるように調整します。
5. **Macintoshをお使いで、コントロールパネルに「ガンマ」が登録されている（Adobe Photoshopがインストールされている）場合は、ディスプレイのガンマ（グレー）調整を行います。**
ガンマ補正の値は、一般的な 1.8 に設定するのが良いでしょう。
6. **ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャナで取り込んだ画像の色が原稿またはプリンタの出力結果に近くなるように調整を行います。**
7. **調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。**

カラーマネージメントシステム「ICM」

スキャナから取り込んだ画像とプリンタでの印刷結果の色合いを近付けるために、Windows95/98では、Microsoft社の「ICM」というカラーマネージメントシステムがあります。



ICMを使用した場合でも、通常、ディスプレイ表示だけは色合いを近付けることはできません。ただし、次の場合に、ディスプレイ表示の色合いを近付けることができます。

- **ディスプレイ調整機能によって、ディスプレイをガンマ特性2.2、色温度6500 °Kに調整した場合。（前ページを参照してください。）**
- **Windows98をご利用で、ディスプレイメーカーからICCプロファイル（色特性データファイル）が提供されており、なおかつアプリケーションソフトが対応している場合。**
  （詳細は、ディスプレイおよびアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。）


ポイント

- 「ICM」は、Windows95/98/2000用のプリンタドライバでのみご利用になれます。
- TWAIN ドライバなどスキャナについての詳細は、スキャナの取扱説明書をご覧ください。
- Windows98/2000のICMはWindows95のICMよりも高い精度で色合いを近付けることができます。

カラーマネージメントシステム「ColorSync」

「ColorSync」は、原画(印刷データ)、ディスプレイの表示、印刷結果の色の合わせ込みを行うApple社のカラーマネージメント機能です。
以下に、「ColorSync」を使用しての、画像の取り込みから印刷までの流れを示します。


ポイント

「ColorSync」を利用するには、Macintoshに「ColorSync」がインストールされている必要があります。



まず始めに、お使いのディスプレイの特性を設定します。

☞ユーザーズガイド「ColorSyncを使用して印刷するには」136ページ



スキャナから画像を取り込む場合は、TWAIN(スキャナの画像取り込み用ソフト)で、「ColorSync」を使用して画像を取り込みます。

選択します



画面はEPSON GT-7000(スキャナ)の場合です。



プリンタドライバで「ColorSync」を選択して、印刷します。

選択します



- 「ColorSync」を選択して色合わせを行う場合は、RGBの画像データを使用してください。CMYK、Labなどのデータでは、正しく色合わせができません。
- 一部のアプリケーションソフトでは、ソフトウェア上でColorSyncの設定が行えます(AdobePageMaker6.5J、Photoshop4.0J以降、Illustrator7.0J以降など)。ソフトウェア上でColorSyncの設定を行う場合は、プリンタドライバでは「ColorSync」を選択せず、[ドライバによる色補正]ー[色補正方法:色補正なし]を指定してください。

プリンタドライバの印刷機能

本機のプリンタドライバには、お客様の様々な用途にお応えできるよう便利な印刷機能をご用意しています。

スタンプマーク印刷機能

文書に ㊙ などのイメージやテキストを重ねて印刷することができます。
お客様のオリジナルのイメージを保存し、使用することも可能です。

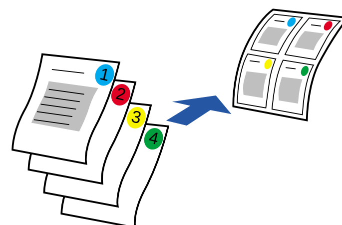
Windows　ユーザーズガイド「スタンプマークを印刷するには」54ページ
Macintosh　ユーザーズガイド「スタンプマーク」123ページ



割り付け印刷機能

２ページまたは４ページ分のデータを１ページにまとめて印刷できます。

ユーザーズガイド「[レイアウト]ダイアログ」
Windows　51ページ
Macintosh　123ページ



拡大 / 縮小印刷機能

プリンタにセットした用紙サイズを設定することで、自動的に倍率が設定されます。また任意の倍率を設定することも可能です。

Windows　ユーザーズガイド「[レイアウト]ダイアログ」51ページ
Macintosh　ユーザーズガイド「[用紙設定]ダイアログ」104ページ
ユーザーズガイド「[レイアウト]ダイアログ」123ページ



セピア / 特殊効果印刷機能

オートフォトファイン!4を使用して印刷することにより、お好みの画像をセピア調に印刷することもできます。

ユーザーズガイド「オートフォトファイン!4」
Windows　48ページ
Macintosh　121ページ



印刷機能の確認(ステータスシート)

ステータスシートを印刷してプリンタの状態や設定値を確認することができます。
ユーザーズガイド「ステータスシートの印刷」172ページを参照してステータスシートを印刷し、下図のようにきれいに印刷されれば、本機の印刷機能は正常に動作しています。

トナー残量が確認できます。

プリンタにセットしてある用紙のサイズや設定されている用紙タイプを確認できます。

EPSON

LP-8300C

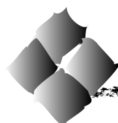
A3 Wide
Full Color
True 600dpi

Intercolor

プリンタに設定されている各種設定値が確認できます。

プリンタが認識しているハードウェアを確認できます。オプション類を装着してここに表示されない場合は、確実に装着されているか確認してください。

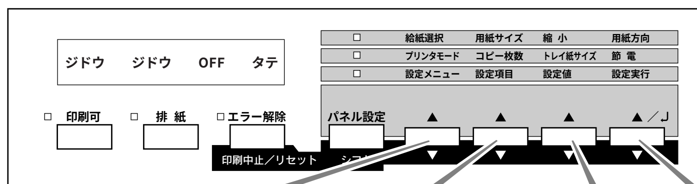
- 上図の印刷サンプルは印刷上の都合により、実際の印刷とは多少異なることがあります。
- 各種設定項目の値は、ご利用のプリンタの状態により異なります。



パネル設定一覧表

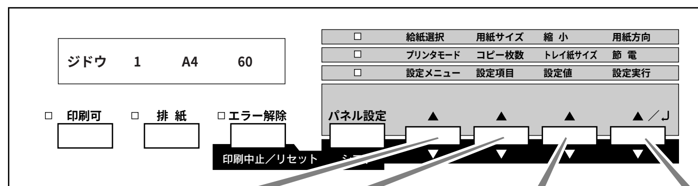
部分はオプション装着時に表示されます。

ワンタッチ設定モード1



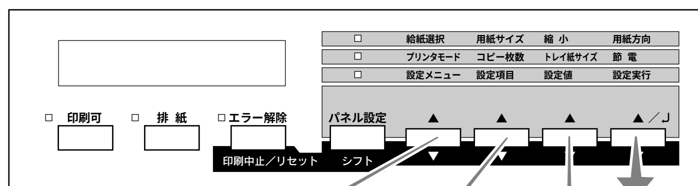
給紙選択	用紙サイズ	縮小	用紙方向
ジドウ→トレイ→カセット 1→カセット2 → カセット3	ジドウ→ A4 → A3 → A5 → B4 → B5 → ハガキ→LT→HLT→LGL→GLT→GLG→B→EXE→F4→ヨウ0→ヨウ4→ヨウ6→A3W	OFF ←→ 80%	タテ←→ヨコ

ワンタッチ設定モード2



プリンタモード	コピー枚数	トレイ紙サイズ	節電
ジドウ ↓ ESC/PS ↓ ESC/P ↓ ESC/Page	1～999	A4→A3→A5→B4→B5→ハガキ→LT→HLT→LGL→GLT→GLG→B→EXE→F4→ヨウ0→ヨウ4→ヨウ6→A3W	30→60→120→180→OFF

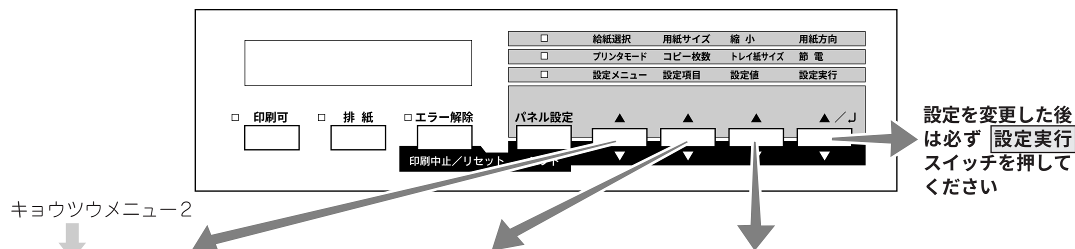
階層設定モード



設定を変更した後は必ず 設定実行 スイッチを押してください

設定メニュー	設定項目	設定値
テストインサツメニュー	ステータスシート	
	I/F カードジョウホウ	
	ROM モジュール A ジョウホウ	
	ROM モジュール B ジョウホウ	
キョウツウメニュー	I/F タイムアウト	20 ～ 600 ビョウ
	セツデン	30 プン→ 60 プン→ 120 プン→ 180 プン→ OFF
	トレイヨウシサイズ	A4 → A3 → A5 → B4 → B5 →ハガキ→ LT → HLT → LGL → GLT → GLG → B → EXE → F4 → ヨウ 0 →ヨウ 4 →ヨウ 6 → A3W
	カセット 1 ヨウシサイズ	
	カセット 2 ヨウシサイズ	
	カセット 3 ヨウシサイズ	
	トレイタイプ	フツウシ→レターヘッド→サイセイシ→イロツキ→OHP シート→ラベル
	カセット 1 タイプ	フツウシ→レターヘッド→サイセイシ→イロツキ
	カセット 2 タイプ	フツウシ→レターヘッド→サイセイシ→イロツキ
	カセット 3 タイプ	フツウシ→レターヘッド→サイセイシ→イロツキ
	ヒョウジゲンゴ	ニホンゴ←→ ENGLISH
	セッテイショキカ	
キョウツウメニュー 2	C トナーザンリョウ	
	M トナーザンリョウ	
	Y トナーザンリョウ	
	K トナーザンリョウ	
	カンコウタイライフ	
	ノベインサツマイスウ	
	カラーインサツマイスウ	
	B/W インサツマイスウ	

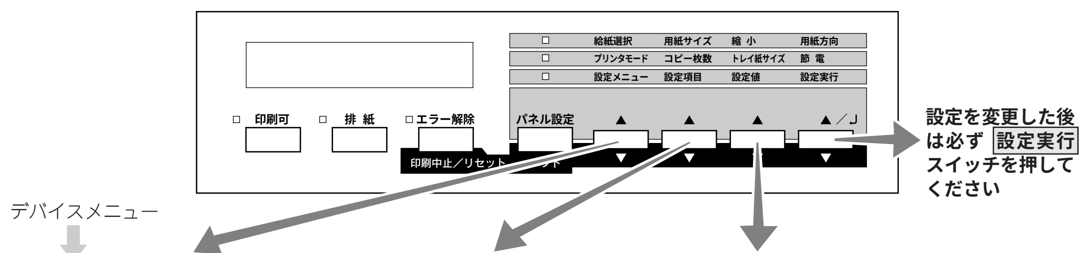
プリンタモードメニュー



キョウツウメニュー2

設定メニュー	設定項目	設定値
プリンタモードメニュー	パラレル	ジドウ→ESC/PS→ESC/P→ESC/Page
	I/F カード	ジドウ→ESC/PS→ESC/P→ESC/Page
	ワンタッチ	パラレル→ネットワーク→I/F カード
インサツメニュー	キュウシ	ジドウ→トレイ→カセット 1→カセット2→カセット3
	ヨウシサイズ	ジドウ→A4→A3→A5→B4→B5→ハガキ→LT→HLT→LGL→GLT→GLG→B→EXE→F4→ヨウ0→ヨウ4→ヨウ6→A3W
	ヨウシホウコウ	タテ←→ヨコ
	ハイシ	FD←→FU
	コピーマイスウ	1～999
	シュクショウ	OFF←→80%
	カイゾウド	ハヤイ←→キレイ
	イメージホセイ	1←→2
	ハクシセツヤク	スル←→シナイ
	ジドウハイシ	スル←→シナイ
	リョウメンインサツ	OFF←→ON
	トジホウコウ	ロングエッジ←→ショートエッジ
デバイスメニュー	RIT	ON←→OFF
	トナーセーブ	シナイ←→スル
	ウエオフセット	-30.0mm～+30.0mm
	ヒダリオフセット	-30.0mm～+30.0mm
	ウエオフセットB	-30.0mm～+30.0mm
	ヒダリオフセットB	-30.0mm～+30.0mm
	カミシュ	フツウ→アツガミ→OHP シート→コートシ
	ヨウシサイズフリー	OFF←→ON
	ジドウエラーカイジョ	シナイ←→スル
	ページエラーカイヒ	OFF←→ON

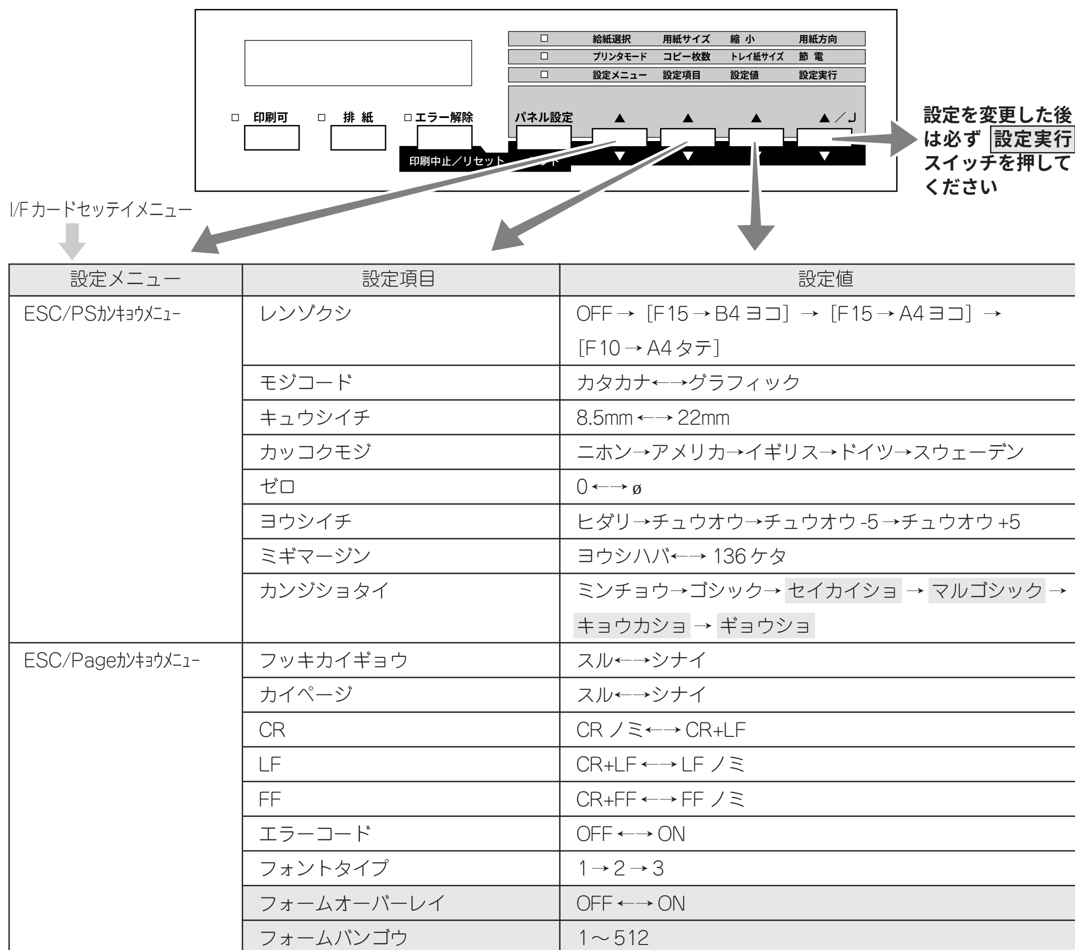
パラレルI/F セッテイメニュー



デバイスメニュー

設定メニュー	設定項目	設定値
パラレルI/F セッテイメニュー	パラレルI/F	ツカウ←→ツカワナイ
	ACK ハバ	ミジカイ←→ヒョウジュン
	ソウホウコウ	ニブル→ECP →OFF
	ジュシンバッファ	ヒョウジュン→サイダイ→サイショウ
I/F カードセッテイメニュー	I/F カード	ツカウ←→ツカワナイ
	I/F カードセッテイ	シナイ→スル
	IP アドレスセッテイ	パネル→ジドウ→PING
	IP Byte 1	0～255
	IP Byte 2	0～255
	IP Byte 3	0～255
	IP Byte 4	0～255
	SM Byte 1	0～255
	SM Byte 2	0～255
	SM Byte 3	0～255
	SM Byte 4	0～255
	GW Byte 1	0～255
	GW Byte 2	0～255
	GW Byte 3	0～255
	GW Byte 4	0～255
	NetWare	ON←→OFF
	AppleTalk	ON←→OFF
	NetBEUI	ON←→OFF
	I/F カードショキカ	
	ジュシンバッファ	ヒョウジュン→サイダイ→サイショウ

ESC/PS カンキョウメニュー



設定メニュー	設定項目	設定値
ESC/PSｶﾝｷｮｳﾒﾆｭｰ	レンゾクシ	OFF→［F15→B4 ヨコ］→［F15→A4 ヨコ］→［F10→A4 タテ］
	モジコード	カタカナ←→グラフィック
	キュウシイチ	8.5mm←→22mm
	カッコクモジ	ニホン→アメリカ→イギリス→ドイツ→スウェーデン
	ゼロ	0←→ø
	ヨウシイチ	ヒダリ→チュウオウ→チュウオウ -5→チュウオウ +5
	ミギマージン	ヨウシハバ←→136 ケタ
	カンジショタイ	ミンチョウ→ゴシック→セイカイショ→マルゴシック→キョウカショ→ギョウショ
ESC/Pageｶﾝｷｮｳﾒﾆｭｰ	フッキカイギョウ	スル←→シナイ
	カイページ	スル←→シナイ
	CR	CR ノミ←→CR+LF
	LF	CR+LF←→LF ノミ
	FF	CR+FF←→FF ノミ
	エラーコード	OFF←→ON
	フォントタイプ	1→2→3
	フォームオーバーレイ	OFF←→ON
	フォームバンゴウ	1～512